



OnTime[®] GROUP CALENDAR

for Domino

インストールマニュアル (Ver.8.3.0-)
クイック & ステップ バイ ステップ

OnTime Group Calendar Direct Shop

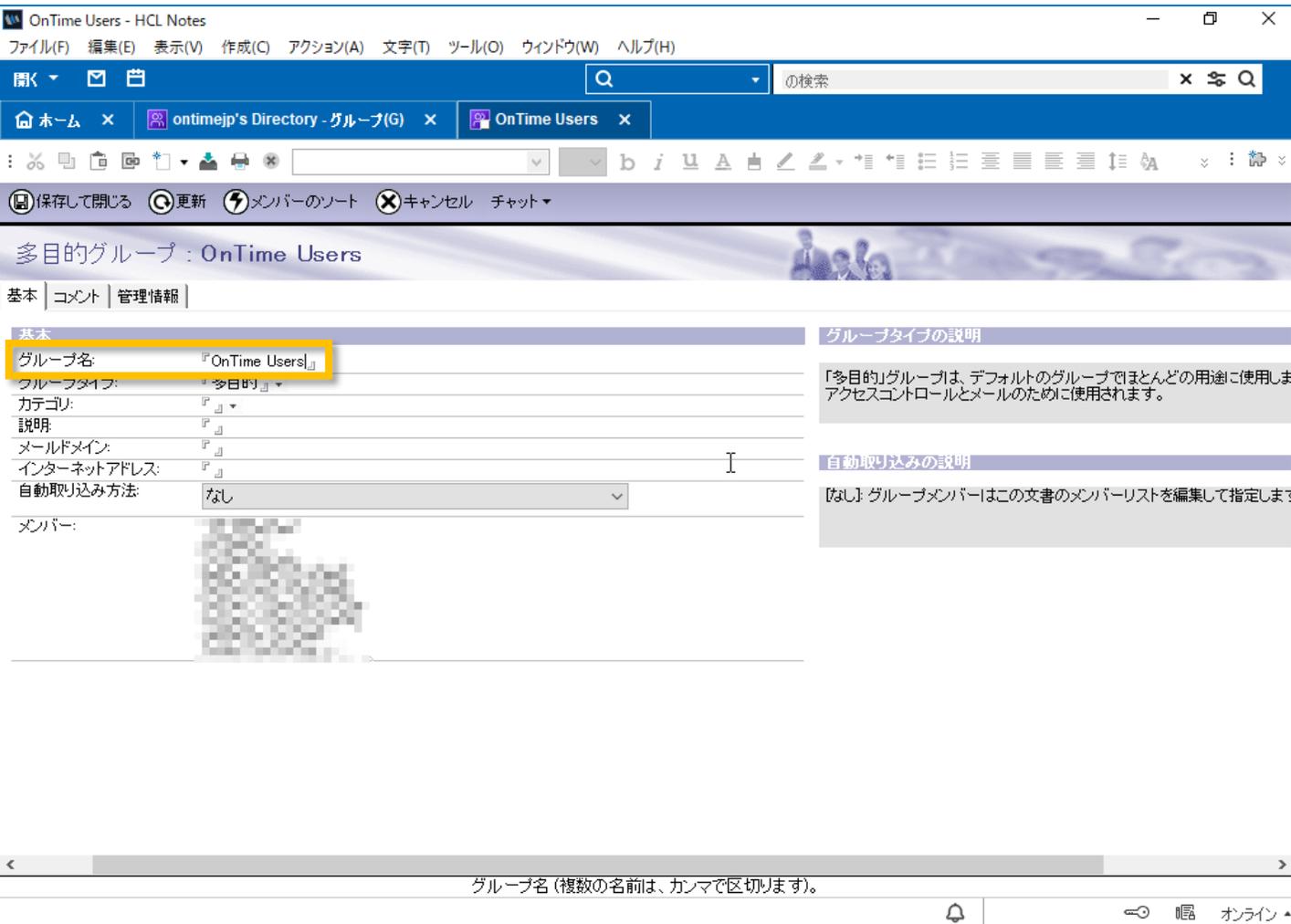
2022/09/22

目次



• 予めグループ文書の作成	p.3	• メール同期前のConfigDBのUsers文書を確認	p.32
• OnTime用にサーバー文書を変更	p.4	• メール同期前のDataDBのCalendars文書を確認	p.33
• メールサーバーのサーバー文書を変更	p.6	• OnTimeGCタスクとサーバレットのインストール	p.34
• ダウンロードしたプログラムのzipを展開します	p.7	• スケジュール同期コマンドを実行	p.40
• Dominoデータフォルダにテンプレートを配置	p.8	• 「Admin」コマンドの再実行	p.44
• テンプレートをサーバーIDで署名します	p.11	• ブラウザからOnTimeクライアントを起動	p.45
• OnTime ConfigDBを新規作成します	p.17	• NotesからOnTimeクライアントを起動	p.48
• 製品をアクティベーションします	p.19	• デフォルト設定を準備	p.51
• GlobalSettings文書の初期設定を行う	p.24	• 予定を操作して最終確認	p.55
• ServerSettings文書を作成します	p.27	• 引き続き各種設定も行ってください	p.59

予めグループ文書の作成



- OnTimeは同期対象のユーザーや会議室、リソースをまとめたグループ文書の作成を推薦しています
- ご利用になるユーザーなどの追加削除はグループ文書を編集することでOnTime側はメンテナンスフリーに近づきます
- グループ名は「OnTime Users」で作成します
- この名前は各DBのACL等でも利用されており個別に設定する必要がなくなります

OnTime用にサーバー文書を変更 1



管理者	可能なプログラムの制限	可能ユーザー
管理者(フルアクセス): LocalDomainAdmins LocalDomainServers	制限なしで署名または実行:	Administrators Sontimejp LocalDomainAdmins LocalDomainServers
管理者:	他のユーザーとして実行するエージェントを署名:	
管理者(データベース):	呼び出したユーザーとして実行するエージェントまたはXPAGEを署名:	
管理者(フルリモートコントロール):	制限付き LotusScript/Java エージェントの署名または実行:	LocalDomainAdmins LocalDomainServers
管理者(参照限定):	シンプルアクションと式エージェントの実行:	
システム管理者:	他のユーザーとして実行するスクリプトライブラリを署名:	
システム管理者(限定):	次の設定は IBM Domino 6 では無効です。前バージョン使用時の互換性のためこのみ使用します:	
制限するシステムコマンド:	制限付き Java/Javascript/COM の実行:	Administrators, LocalDomainAdmins, LocalDomainServers
Domino 6 では未使用: ブラウザからのサーバー管理:	制限なし Java/Javascript/COM の実行:	Administrators, LocalDomainAdmins, LocalDomainServers

制限されていないエージェントをサーバー上で実行することを許可するユーザーとグループ。空白の場合、どのユーザーやグループも許可されません。

- OnTimeは各種コマンドをサーバー権限で実行します
- 「制限なしで署名または実行」にサーバーを指定します

OnTime用にサーバー文書を変更 2



サーバー: [redacted] - HCL Notes

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 作成(C) アクション(A) 文字(T) ツール(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

開く 検索 検索

ホーム x ontimejp's Directory - サーバーサーバー x サーバー: [redacted] x

保存して閉じる Webの作成... IBM Notes 認証の調査 サーバー設定の検索 キャンセル

サーバー: [redacted]

基本 | セキュリティ | ポート... | サーバータスク... | インターネットプロトコル... | MTA... | その他 | トランザクションログ | 共有メール | DAOS | Notes Traveler | 管理情報

HTTP | Domino Web Engine | DIIOP | LDAP

HTTP セッション

セッション認証: **単一サーバー** (SAML)

アイドル状態のセッションのタイムアウト: 複数サーバー (SSO) / 単一サーバー / 無効

TLS へのログインを強制: 無効

単一サーバーセッションのCookieの使用をHTTP/HTTPSに制限: 無効

単一サーバーセッションのCookieのために、TLSで保護された通信 (HTTPS) が必要: 無効

SameSite cookie 属性: ブラウザのデフォルトまたは INI 設定を使用

このサーバーへの参照を生成

このサーバーは IIS を使用していますか? 『』

プロトコル: 『』

ホスト名: 『』

ポート番号: 『80』

Java サーブレット

Java サーブレットサポート: 『Domino Servlet Manager』

サーブレット URL パス: 『/servlet』

クラスパス: 『domino#servlet』

サーブレットファイル拡張子: 『』

セッション状態ラッキング: 『有効』

アイドル状態のセッションのタイムアウト: 『30』分

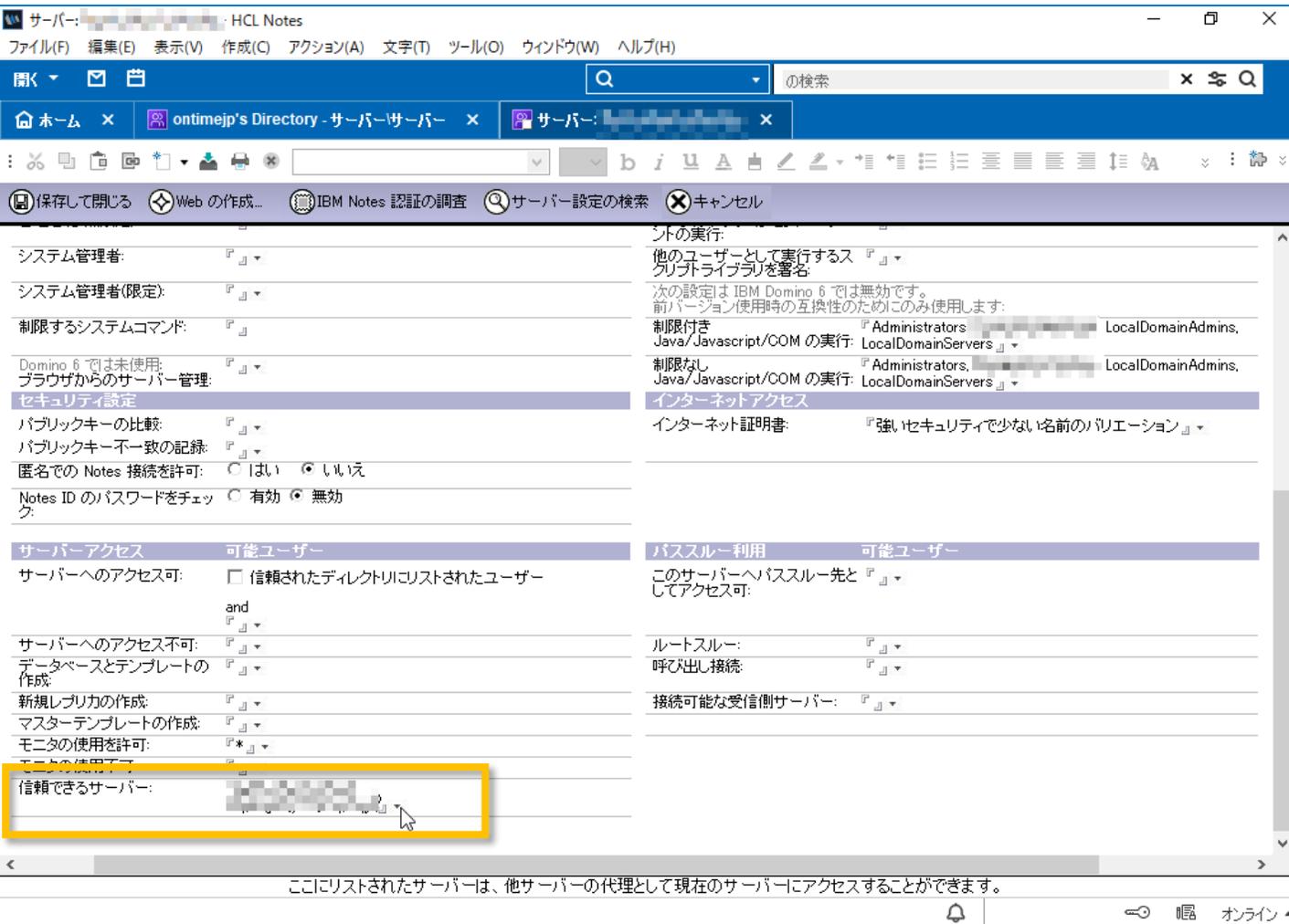
最大セッション数: 『1000』

セッションの保持: 『無効』

HTTP セッション認証方法

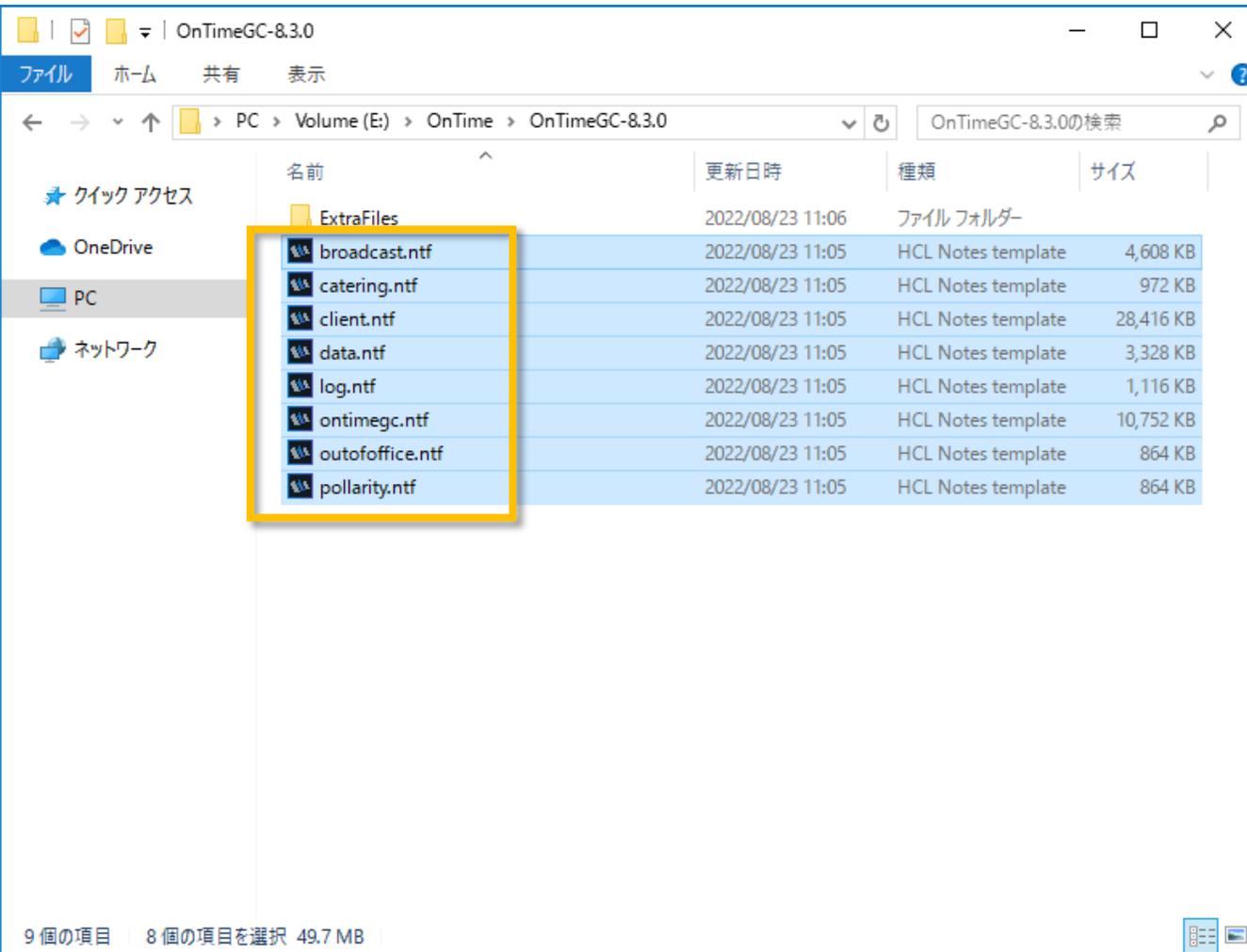
- OnTimeはhttpを利用しますがベーシック認証はサポートしていません
- セッション認証を有効にします

メールサーバーのサーバー文書を変更



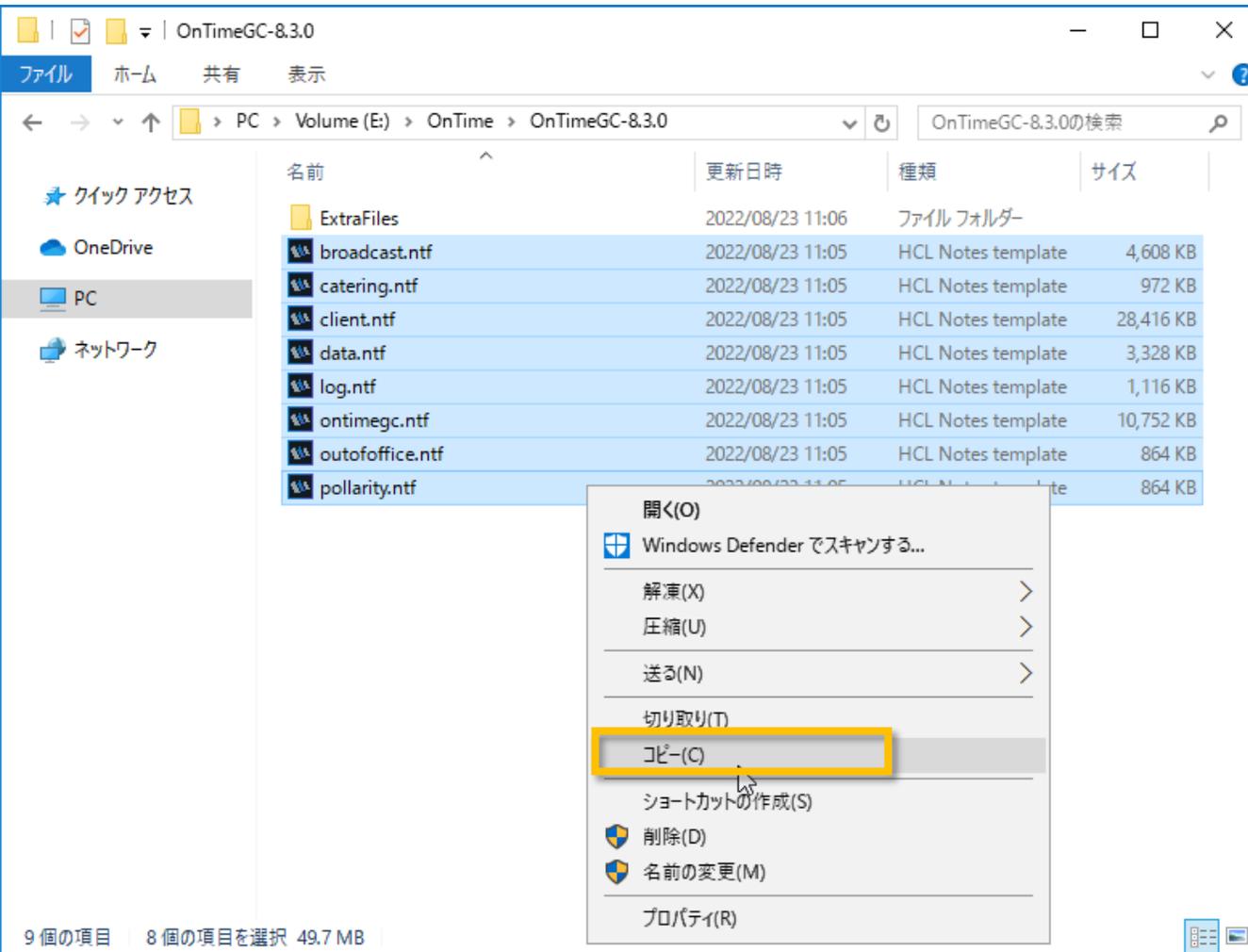
- メールサーバー側のサーバー文書には OnTimeが稼働するサーバーからアクセスがあります
- OnTimeサーバーが参照するメールサーバーが他にも存在する場合、参照される側のメールサーバーのサーバー文書の「信頼できるサーバー」にOnTimeサーバーを指定してください。

ダウンロードしたプログラムのzipを展開します



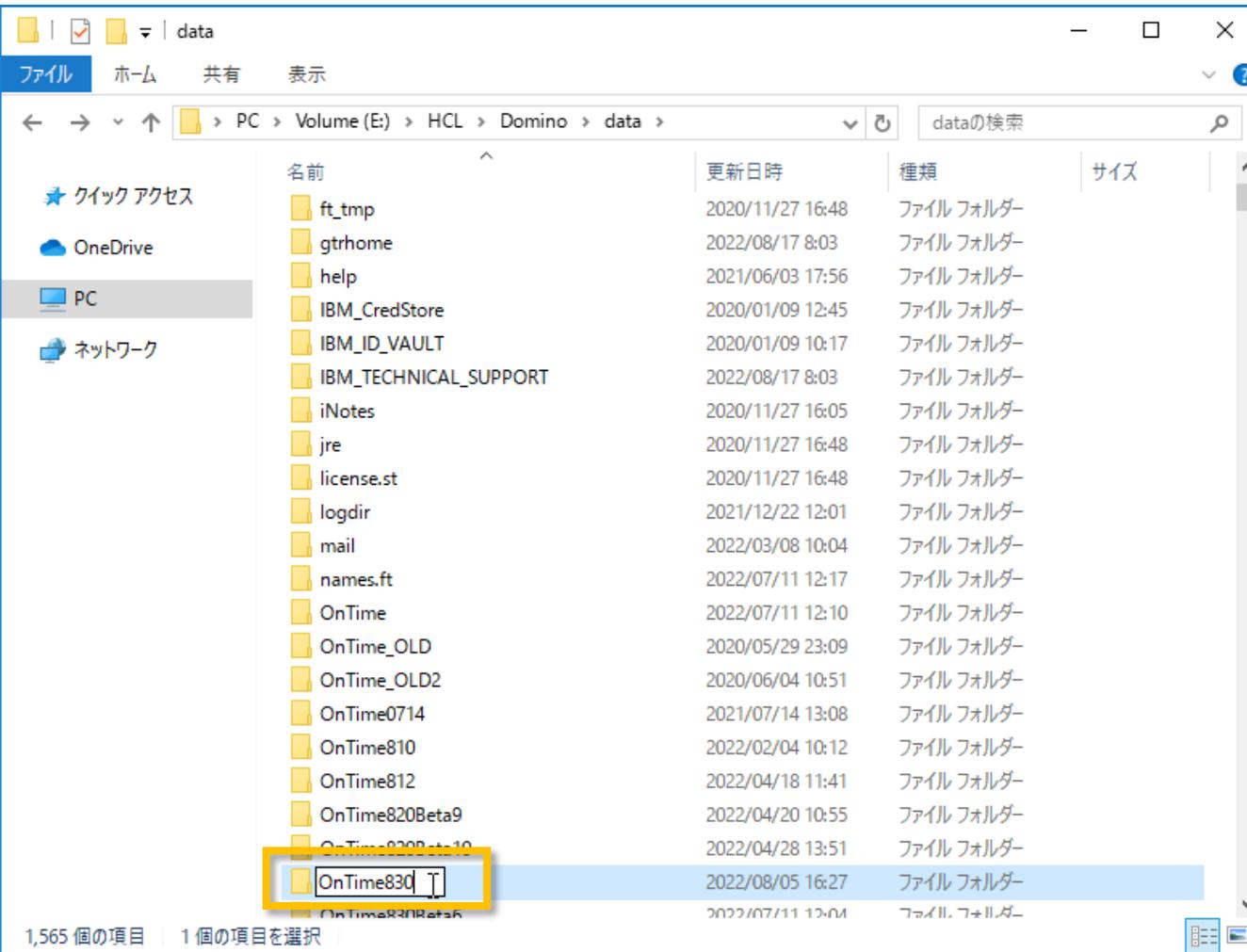
- Zipファイルを展開すると各種テンプレートとExtraFilesフォルダが解凍されます
- ExtraFilesフォルダは通常使いません

Dominoデータフォルダにテンプレートを配置 1



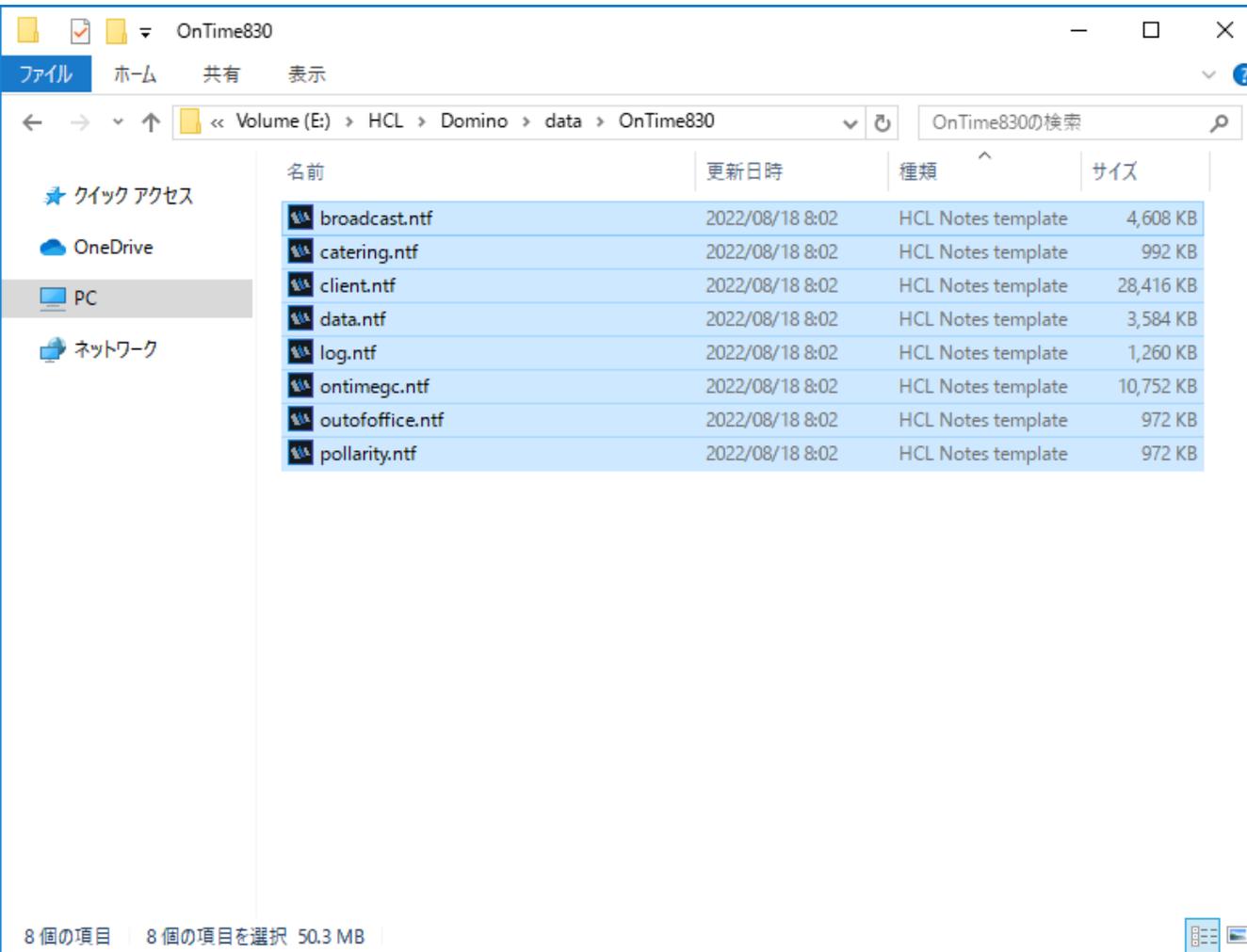
- 全てのテンプレートファイルを選択してコピーします

Dominoデータフォルダにテンプレートを配置 2



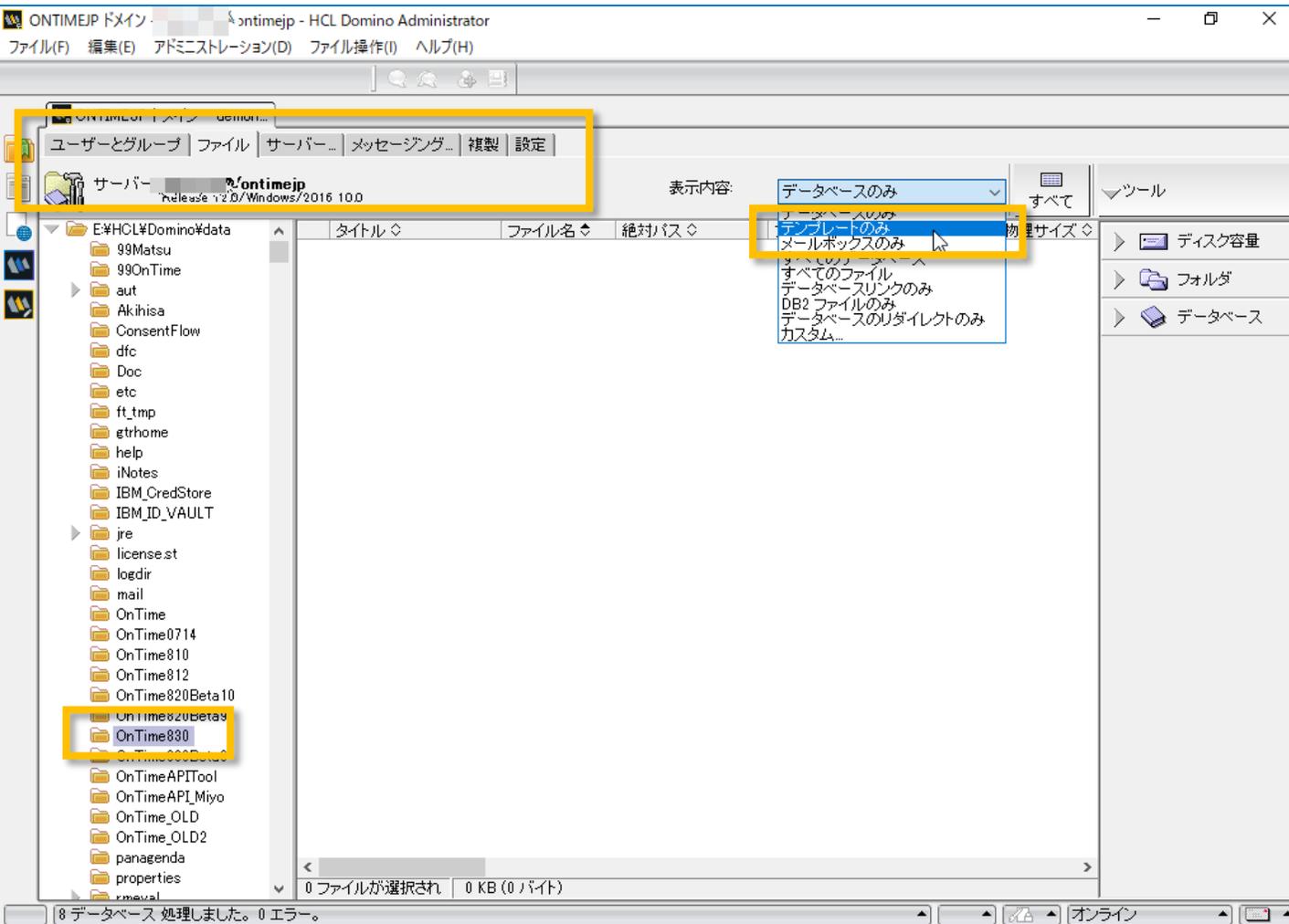
- OnTimeが動作するDominoサーバーのDataフォルダに新しいバージョンのテンプレート用にフォルダを作成します
- 通常は「"OnTime"&バージョン番号」のように識別できるフォルダ名で大丈夫です

Dominoデータフォルダにテンプレートを配置 3



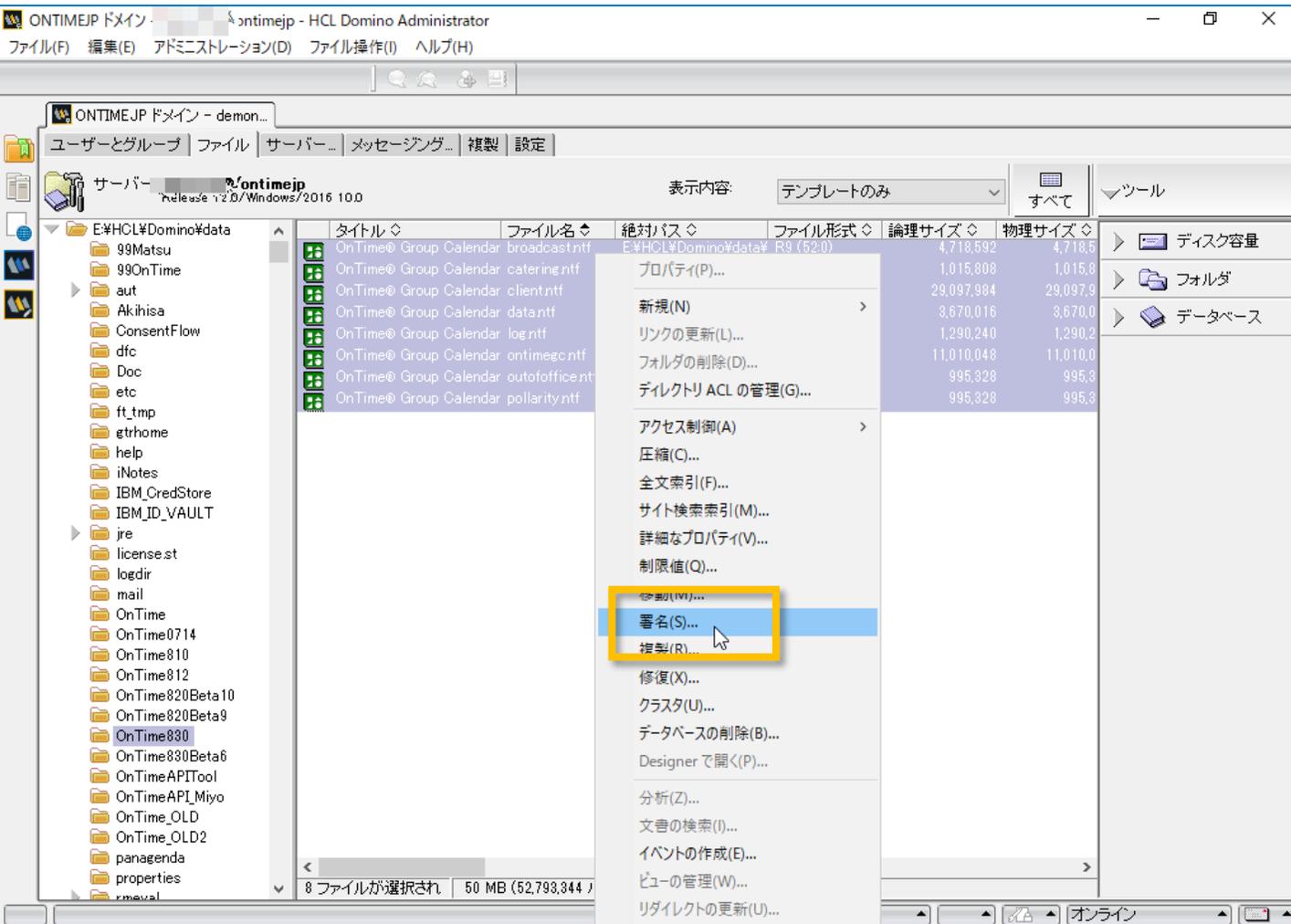
- 作成したテンプレート用フォルダに先ほどコピーしたテンプレートファイルをすべて貼り付けします

テンプレートをサーバーIDで署名します 1



- Domino Administratorを開きます
- OnTimeの動作するサーバーを選択します
- ファイルタブを開きます
- フォルダリストから先ほど作成したテンプレートフォルダを選択します
- フォルダが存在しない場合はF9キーなどで画面をリフレッシュしてください
- 右上の表示内容から「テンプレートのみ」を選択します

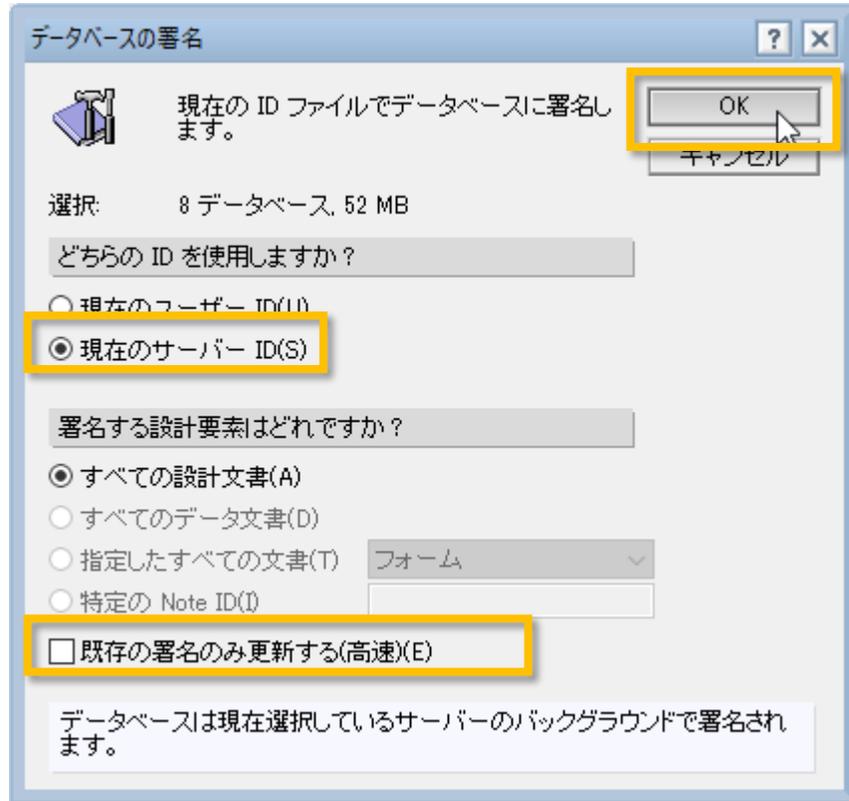
テンプレートをサーバーIDで署名します 2



- 表示されたテンプレートを全て選択します
- マウス右ボタンメニューなどから「署名」を選択します

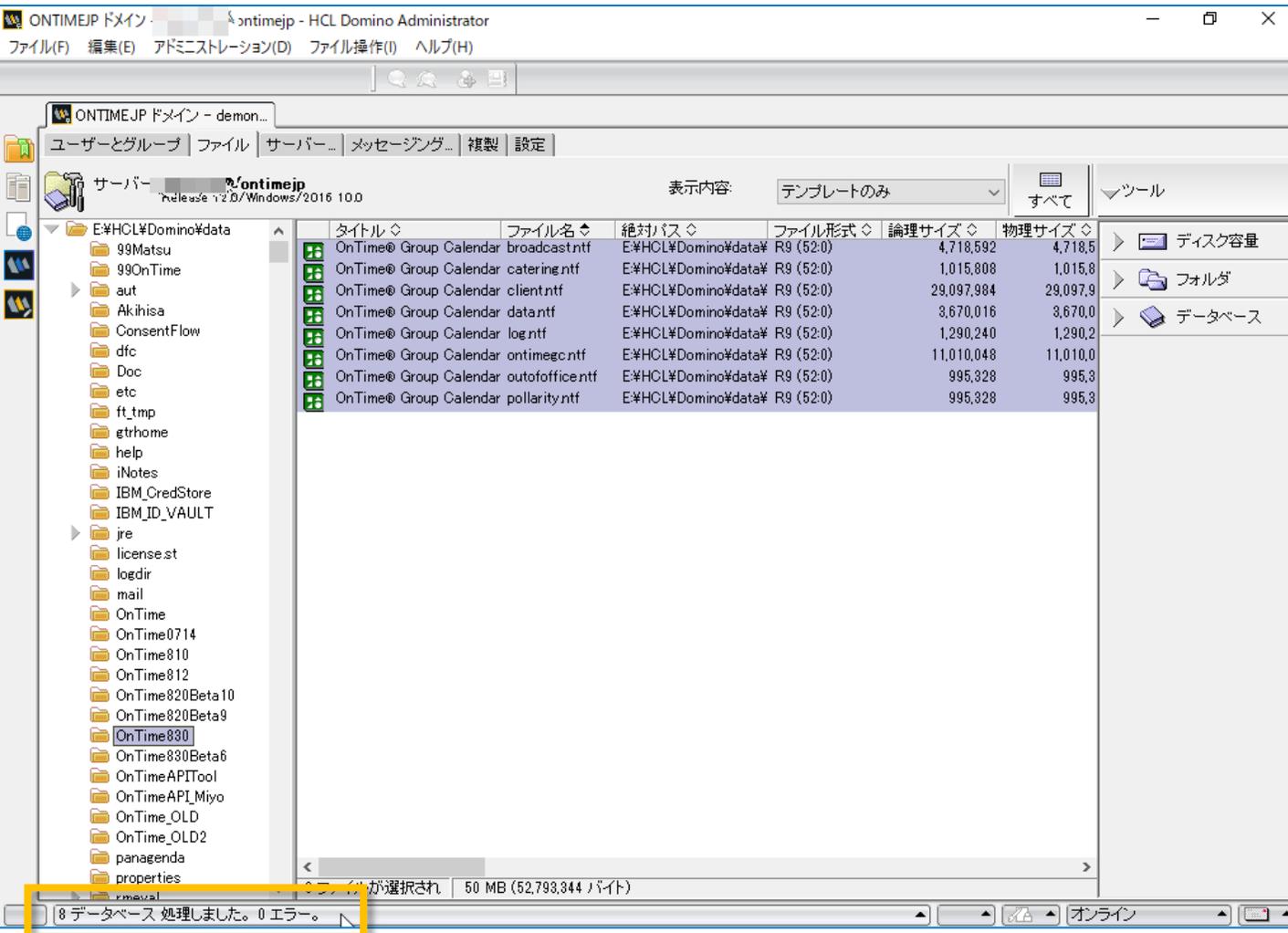


テンプレートをサーバーIDで署名します 3



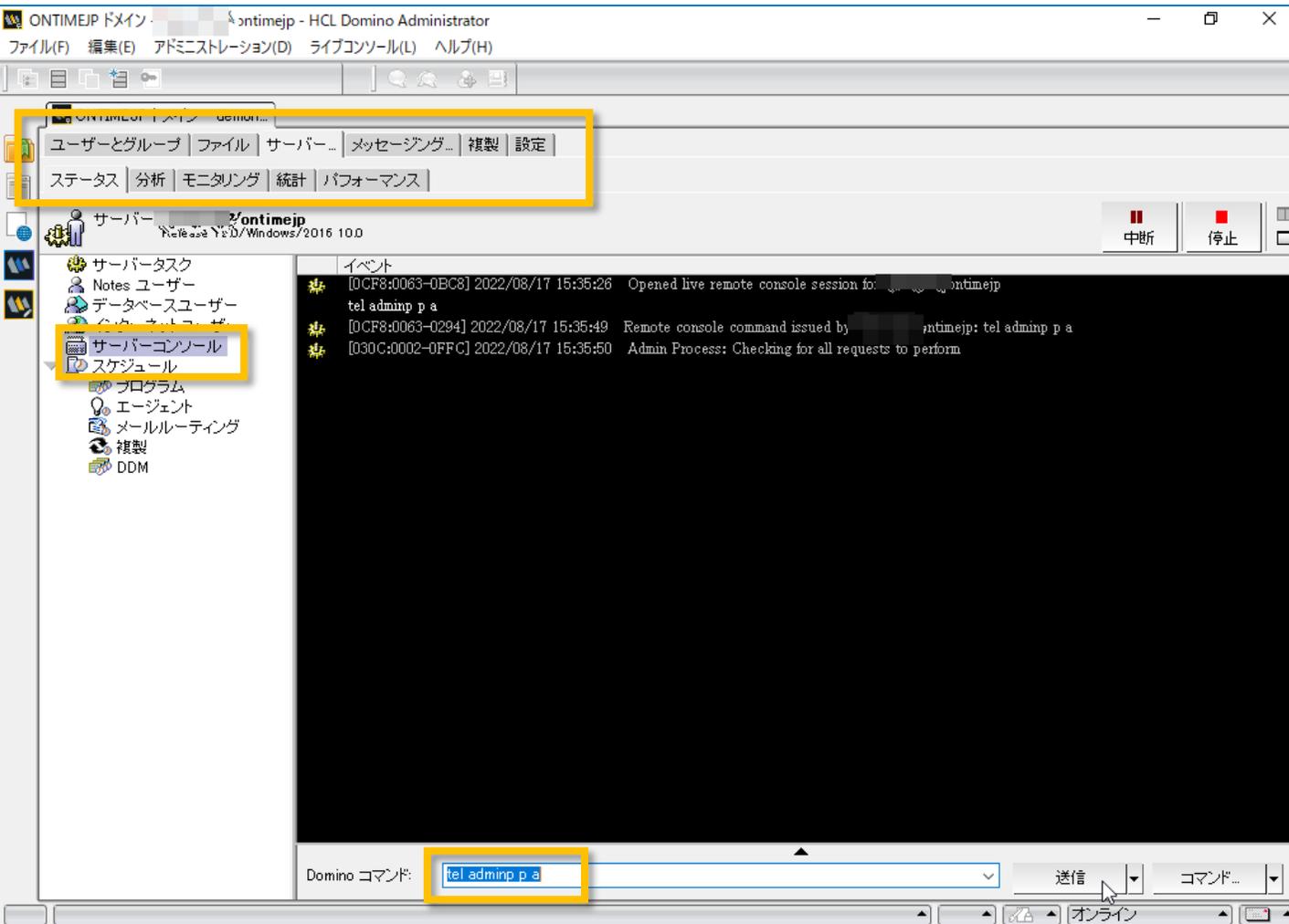
- 署名ダイアログで「現在のサーバーID」を選択します
- 「既存の署名のみ更新する(高速)」のチェックが外れていることを確認します
- 「OK」を押して実行します

テンプレートをサーバーIDで署名します 4



- 画面左下でエラーが0件であることを確認します
- エラーが発生している場合は何かしらの設定か作業環境が正常ではありません作業をストップしてDominoシステム管理者にご相談ください

テンプレートをサーバーIDで署名します 5



- 画面上部のサーバータブを開きます
- 左サイドで「サーバーコンソール」を選択します
- Dominoコマンドに「tel adminp process all」を実行して署名を実施します

テンプレートをサーバーIDで署名します 6

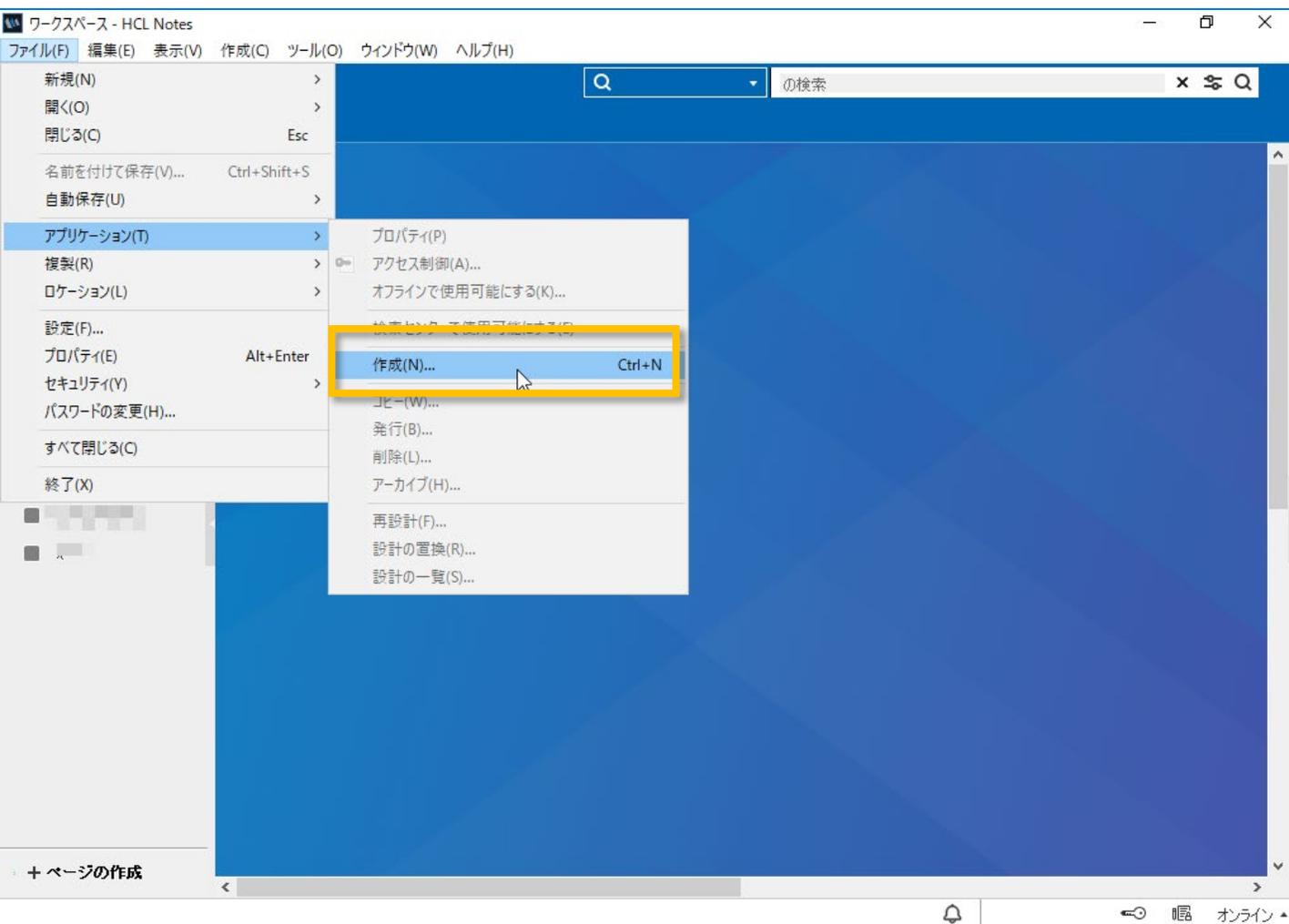


The screenshot shows the OnTime System Management Requirements (11.0) interface. The left sidebar contains a tree view with categories like '要求された管理プロセス' and '発行時間別要求'. The main area displays a table of actions with columns for 'スケジュールの種類', 'アクション', '依頼元', and 'アクションの動作場所'. The table lists multiple instances of the action 'サーバー ID ファイルデータベースの署名' performed by 'otdadmin/ontimejp' on various OnTime components. The status of these actions is shown as successful (green checkmarks) or failed (red triangles).

スケジュールの種類	アクション	依頼元	アクションの動作場所
✓	サーバー ID ファイルデータベースの署名	otdadmin/ontimejp	OnTime@ Group Calendar - Data ver. 8.3.0-beta.6
✓	サーバー ID ファイルデータベースの署名	otdadmin/ontimejp	OnTime@ Group Calendar - Log ver. 8.3.0-beta.6
✓	サーバー ID ファイルデータベースの署名	otdadmin/ontimejp	OnTime@ Group Calendar - Config ver. 8.3.0-beta
✓	サーバー ID ファイルデータベースの署名	otdadmin/ontimejp	OnTime@ Group Calendar - Out of Office ver. 8.3
✓	サーバー ID ファイルデータベースの署名	otdadmin/ontimejp	OnTime@ Group Calendar - Pollarity ver. 8.3.0-be
✓	サーバー ID ファイルデータベースの署名	otdadmin/ontimejp	OnTime@ Group Calendar - Broadcast ver. 8.3.0-r
✓	サーバー ID ファイルデータベースの署名	otdadmin/ontimejp	OnTime@ Group Calendar - Catering ver. 8.3.0-rc
✓	サーバー ID ファイルデータベースの署名	otdadmin/ontimejp	OnTime@ Group Calendar - Client ver. 8.3.0-rc.8
✓	サーバー ID ファイルデータベースの署名	otdadmin/ontimejp	OnTime@ Group Calendar - Data ver. 8.3.0-rc.8
✓	サーバー ID ファイルデータベースの署名	otdadmin/ontimejp	OnTime@ Group Calendar - Log ver. 8.3.0-rc.8
✓	サーバー ID ファイルデータベースの署名	otdadmin/ontimejp	OnTime@ Group Calendar - Config ver. 8.3.0-rc.8
✓	サーバー ID ファイルデータベースの署名	otdadmin/ontimejp	OnTime@ Group Calendar - Out of Office ver. 8.3
✓	サーバー ID ファイルデータベースの署名	otdadmin/ontimejp	OnTime@ Group Calendar - Pollarity ver. 8.3.0-rc
✓	サーバー ID ファイルデータベースの署名	otdadmin/ontimejp	OnTime@ Group Calendar - Broadcast ver. 8.3.0
✓	demondm/ontimejp がアクションを実行しました。時間: 09/14 14:57		
✓	サーバー ID ファイルデータベースの署名	otdadmin/ontimejp	OnTime@ Group Calendar - Catering ver. 8.3.0
✓	demondm/ontimejp がアクションを実行しました。時間: 09/14 14:57		
✓	サーバー ID ファイルデータベースの署名	otdadmin/ontimejp	OnTime@ Group Calendar - Client ver. 8.3.0
✓	demondm/ontimejp がアクションを実行しました。時間: 09/14 14:57		
✓	サーバー ID ファイルデータベースの署名	otdadmin/ontimejp	OnTime@ Group Calendar - Data ver. 8.3.0
✓	demondm/ontimejp がアクションを実行しました。時間: 09/14 14:57		
✓	サーバー ID ファイルデータベースの署名	otdadmin/ontimejp	OnTime@ Group Calendar - Log ver. 8.3.0
✓	demondm/ontimejp がアクションを実行しました。時間: 09/14 14:57		
✓	サーバー ID ファイルデータベースの署名	otdadmin/ontimejp	OnTime@ Group Calendar - Config ver. 8.3.0
✓	demondm/ontimejp がアクションを実行しました。時間: 09/14 14:58		
✓	サーバー ID ファイルデータベースの署名	otdadmin/ontimejp	OnTime@ Group Calendar - Out of Office ver. 8.3
✓	demondm/ontimejp がアクションを実行しました。時間: 09/14 14:58		
✓	サーバー ID ファイルデータベースの署名	otdadmin/ontimejp	OnTime@ Group Calendar - Pollarity ver. 8.3.0
✓	demondm/ontimejp がアクションを実行しました。時間: 09/14 14:58		

- 実施されたか確認する場合は「システム管理要求」データベースを開いて確認してください
- 署名が失敗している場合は何かしらの設定か作業環境が正常ではありません
作業をストップしてDominoシステム管理者にご相談ください

OnTime ConfigDBを新規作成します 1



- ワークスペースでメニューから「アプリケーション/作成」を選択します

注意

OnTimeの設定作業にはNotes 10以上のクライアントが必要です。

OnTime DesktopクライアントはNotes 9.0.1 FP10以上でご利用いただけます。

OnTime ConfigDBを新規作成します 2



新規アプリケーション

新規アプリケーション名と場所の指定

サーバー(S) [] OK

タイトル(T) OnTime GC - Config キャンセル

ファイル名(F) OnTime¥OnTimeGC.nsf

暗号化(E)...

全文索引の作成(C) 詳細(D)...

新規アプリケーションのテンプレートの指定

サーバー(R) []

テンプレート(L)

- OnTime@ Group Calendar - Client ver. 8.2.0-beta.9
- OnTime@ Group Calendar - Client ver. 8.3.0
- OnTime@ Group Calendar - Client ver. 8.3.0-beta.6
- OnTime@ Group Calendar - Client ver. 8.3.0-beta.6
- OnTime@ Group Calendar - Client ver. 8.3.0-rc.8
- OnTime@ Group Calendar - Config ver. 8.1.0
- OnTime@ Group Calendar - Config ver. 8.1.2
- OnTime@ Group Calendar - Config ver. 8.2.0-beta.10
- OnTime@ Group Calendar - Config ver. 8.2.0-beta.9
- OnTime@ Group Calendar - Config ver. 8.3.0
- OnTime@ Group Calendar - Config ver. 8.3.0-beta.6

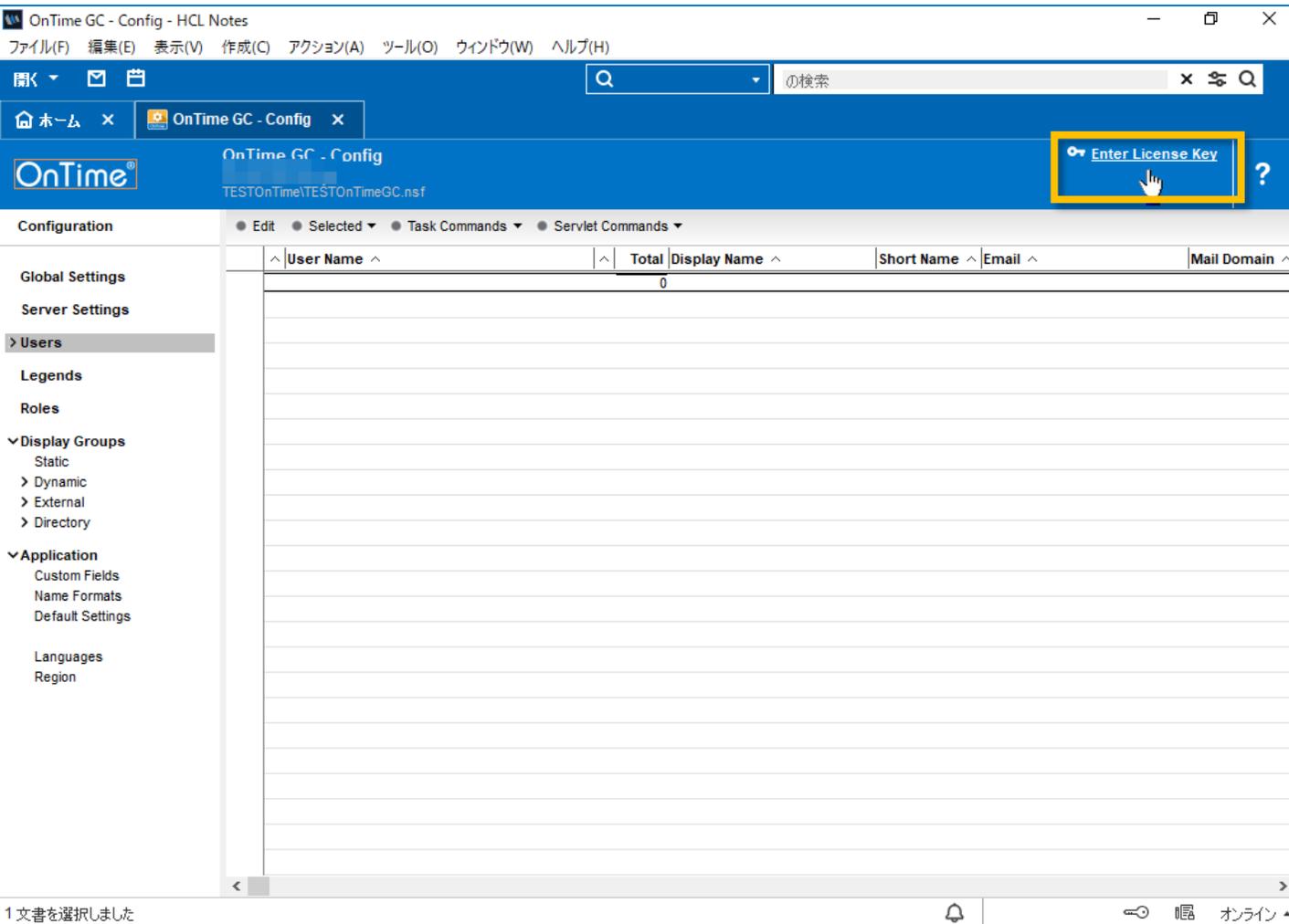
ファイル名(N) OnTime830¥ontimegc.ntf テンプレートについて(A)...

詳細テンプレートの表示(M)

テンプレートを引き継いで設計(O)

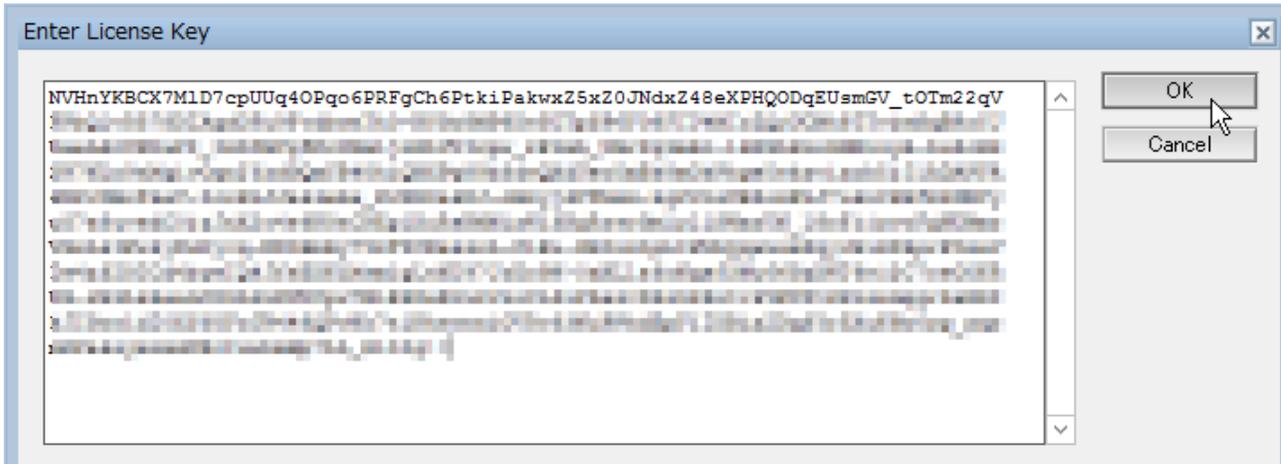
- 左図を参考に各項目に入力します
- サーバー名はOnTimeを実行するサーバーを指定します
- タイトルはいつでも構いませんが他DBの関連から推薦は以下です「OnTime GC - Config」
- ファイル名は以下を指定してください「OnTime¥OnTimeGC.nsf」
- テンプレートの指定では以下を指定します「OnTime Group Calendar - Config ver.X.X.X」
- 「テンプレートを引き継いで設計」のチェックを必ず外してから「OK」をクリック

製品をアクティベーションします 1

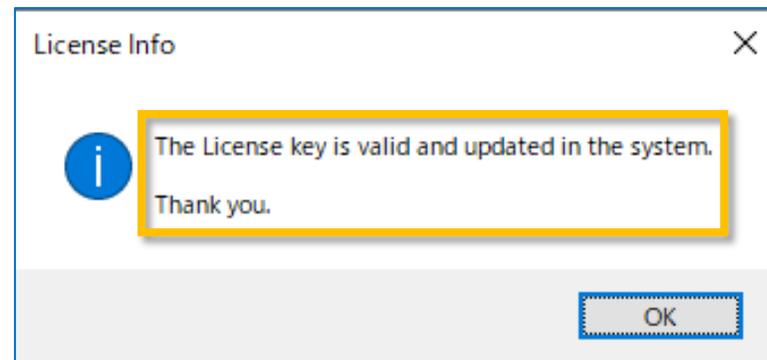


- ConfigDBが問題なく作成できたら左図のようにDBが開きます
- 先に製品をアクティベーションします
(試用版の場合もこちらからトライアルキーを登録します)
- 右上の「Enter License Key」をクリックします

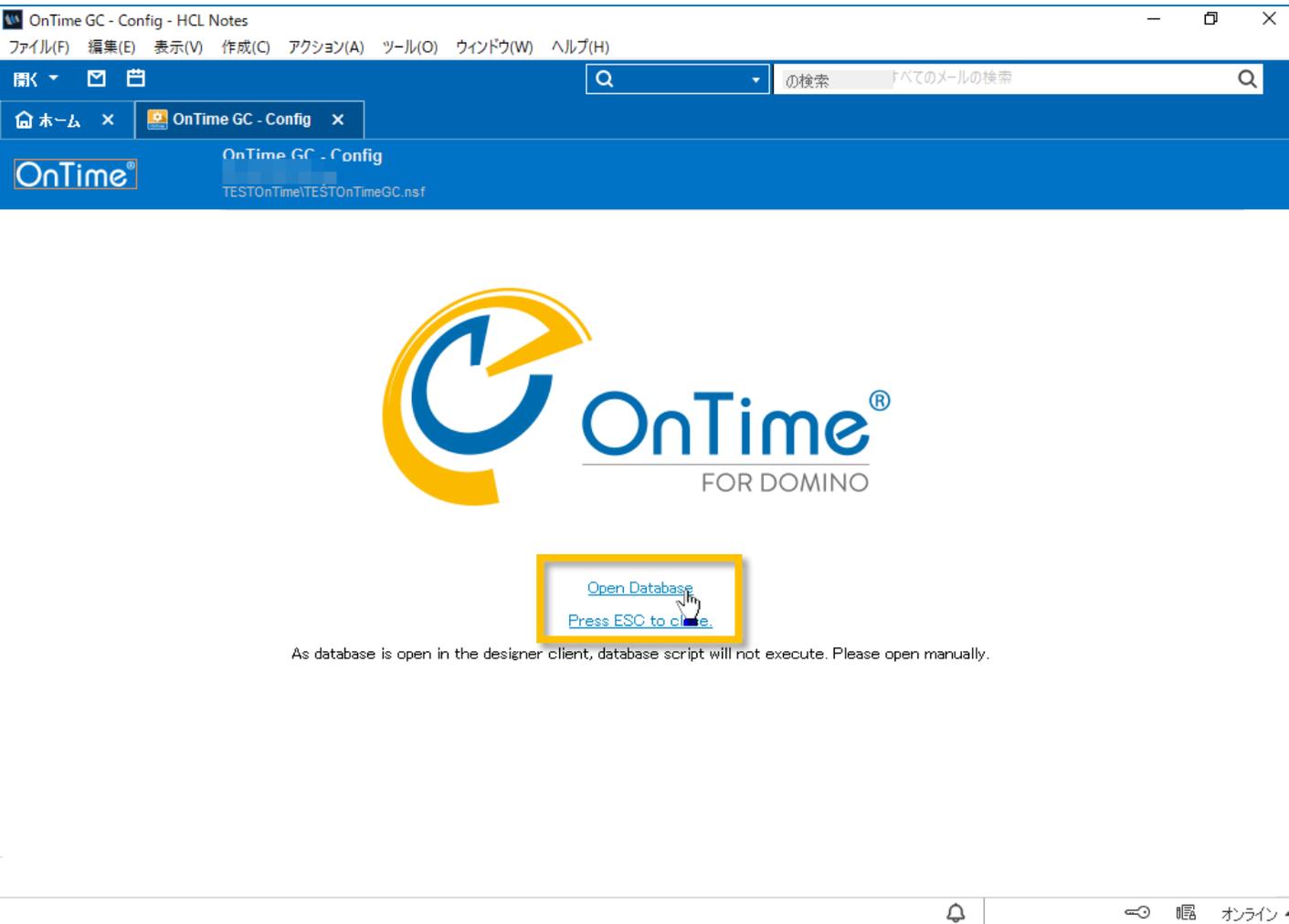
製品をアクティベーションします 2



- キー登録画面が開いたら予め取得したキーを貼り付けます
- 改行や空白は無視されます
- 貼り付けが完了したら「OK」ボタンをクリックします
- 正しいキーの場合は右下のダイアログメッセージと同じ内容が表示されます
- 違うメッセージが表示された場合はキーが正常ではありません
作業をストップして購入先か shop@ontimesuite.jpにご相談ください

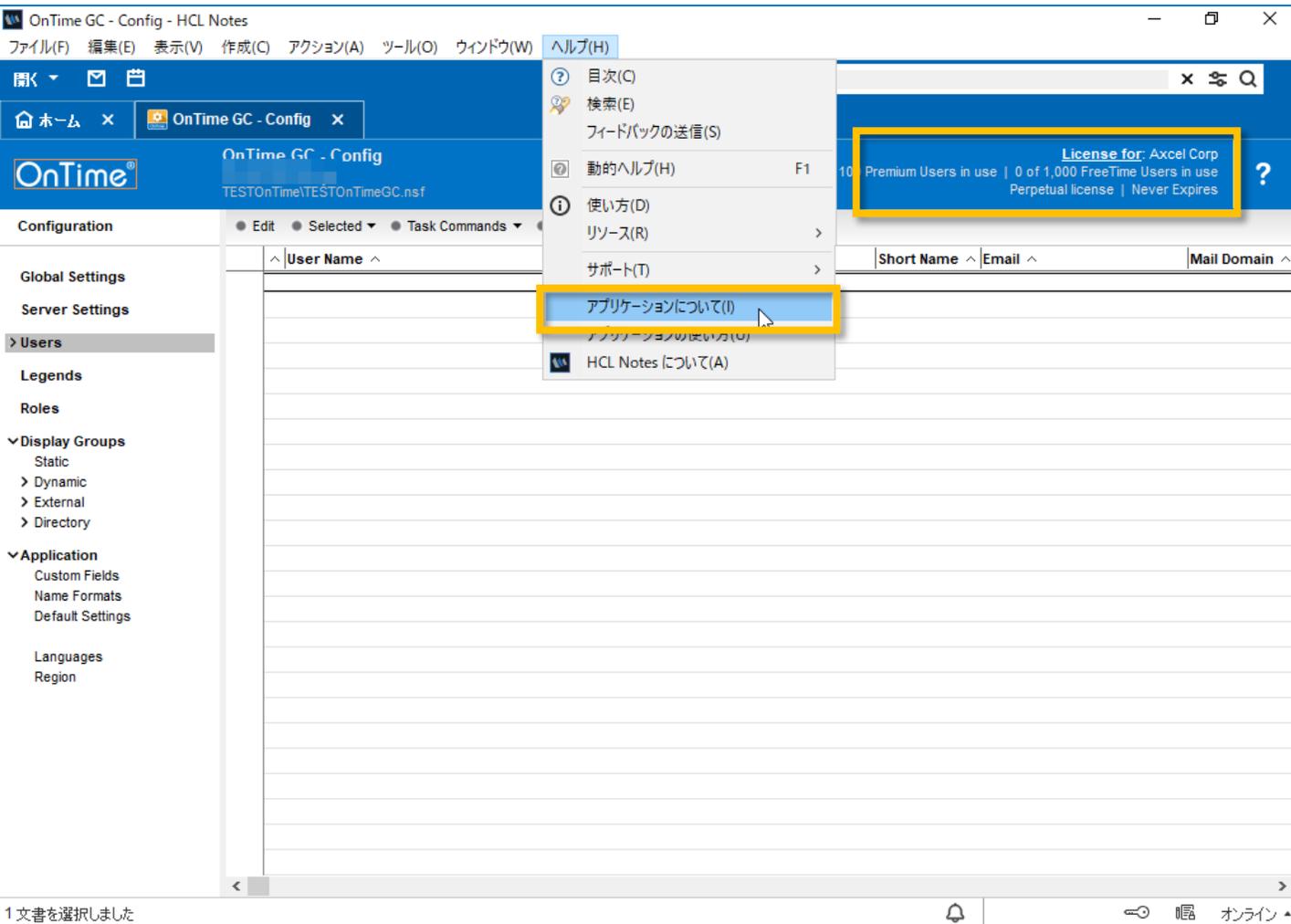


製品をアクティベーションします 3



- ダイアログメッセージで「OK」をクリックするとConfigDBは左図の画面に切り替わります
- 改めて「Open Database」をクリックしてConfigDBを開きます

製品をアクティベーションします 4



- 画面右上にはライセンスの簡易情報が表示されるようになります
- 更にライセンスの詳細情報を確認する場合はメニューから「ヘルプ/アプリケーションについて」を開きます

製品をアクティベーションします 5



The screenshot shows the OnTime software configuration window. The title bar reads 'アプリケーションについて(A) - OnTime GC - Config - 設計 - HCL Notes'. The menu bar includes 'ファイル(F)', '編集(E)', '表示(V)', '作成(C)', 'アクション(A)', 'ツール(O)', 'ウィンドウ(W)', and 'ヘルプ(H)'. The search bar contains 'の検索'. The main content area displays the OnTime logo and the text 'Config Version 8.3.0 Config: 23.0 (20220218-1541)'. A yellow box highlights the license information section, which includes:

License:	
Company:	
Certifier:	
Premium Users:	100
License Type:	Perpetual
Expiry Date:	- never -
Modules:	ApiExplorer, Catering, Connections, Community, Connections.Profiles, Desktop, Exporter, Mobile, OnTimeRoomDisplay, Pollarity

At the bottom, the status bar shows '署名者: [redacted] 日付: 2022/09/14 14:58:09 認証者: /ontimejp' and 'オンライン'.

- 画面を下にスクロールしてライセンスの状況を確認できます
- 確認できるのは以下の通りです
 - 社名
 - Notes認証名
 - 保有数量
 - 使用期限（トライアルなど）
 - 保有するモジュール
- オプション製品を追加購入した場合もこちらにモジュール名として表示されます
- 確認が完了すればページを閉じます

GlobalSettings文書の初期設定を行う 1



OnTime GC - Config - HCL Notes

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 作成(C) アクション(A) ツール(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

開く 検索

ホーム OnTime GC - Config

OnTime

OnTime GC - Config

License for: Axcel Corp
100 Premium Users in use | 0 of 1,000 FreeTime Users in use
Perpetual license | Never Expires

Configuration

Global Settings

Server Settings

Users

Legends

Roles

Display Groups

Static

Dynamic

External

Directory

Application

Custom Fields

Name Formats

Default Settings

Languages

Region

User Name ^	Total	Display Name ^	Short Name ^	Email ^	Mail Domain ^
0					

1 文書を選択しました

オンライン

- まず組織の基本設定を行います
- 組織の設定は1つだけなので Notes/Dominoというプロフィール文書で準備されています
- 左サイドメニューから「GlobalSettings」をクリックして「GlobalSettings文書」を開いてください

GlobalSettings文書の初期設定を行う 2



The screenshot shows the 'Global Settings - HCL Notes' application. The 'Users' section is active, showing a table with columns for 'Premium Users', 'OnTime Users', and 'Excluded'. A yellow box highlights the 'Premium Users' dropdown menu, which is set to 'OnTime Users'. A yellow arrow points from this box to the 'Select Names' dialog box. The dialog box is titled 'Select Names' and shows a list of names starting with 'ontime' in the 'osaka, 9rou' directory. The 'OnTime Users' name is selected and added to the 'Names' list on the right. The 'Add' button is visible between the two lists. The 'Ok' button is highlighted at the bottom of the dialog box.

- Premium UsersではOnTimeと同期するユーザー、会議室やリソースを登録します。右のExcludedには除外対象を設定します。
- ここでは事前に作成した「OnTime Users」グループを登録します
- Excludedは除外を意味します
 - 必要であればNotes/Dominoではよく利用する「Terminators」を登録しておくのも良いでしょう。

GlobalSettings文書の初期設定を行う 3



Global Settings - HCL Notes

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 作成(C) アクション(A) 文字(T) ツール(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

開く 検索

ホーム OnTime GC - Config Global Settings

Global Settings

Users

Users in Group Calendar

Select by Names/Groups/Hierarchy Mail Server

Premium Users Excluded

Multi Domain Yes

Options | Photos | Business Card | Search Directories | Out Of Office | Shared Desk | Polarity | Catering | Online Meetings | Rooms Display | Other

Base Options

Directory of Templates

Keep/Sync back days

Send out of License info To When less than users available.

Display of Users

Persons

Resources

Alt. Sort Order

Entry Display Modifier (Active if formula is true)

Advanced Options

Disable use of ACLs from Mail Files Room & Resources

Exclude names when reading ACLs

Encrypt Texts Yes

Custom Desktop Top Bar

Enable Yes

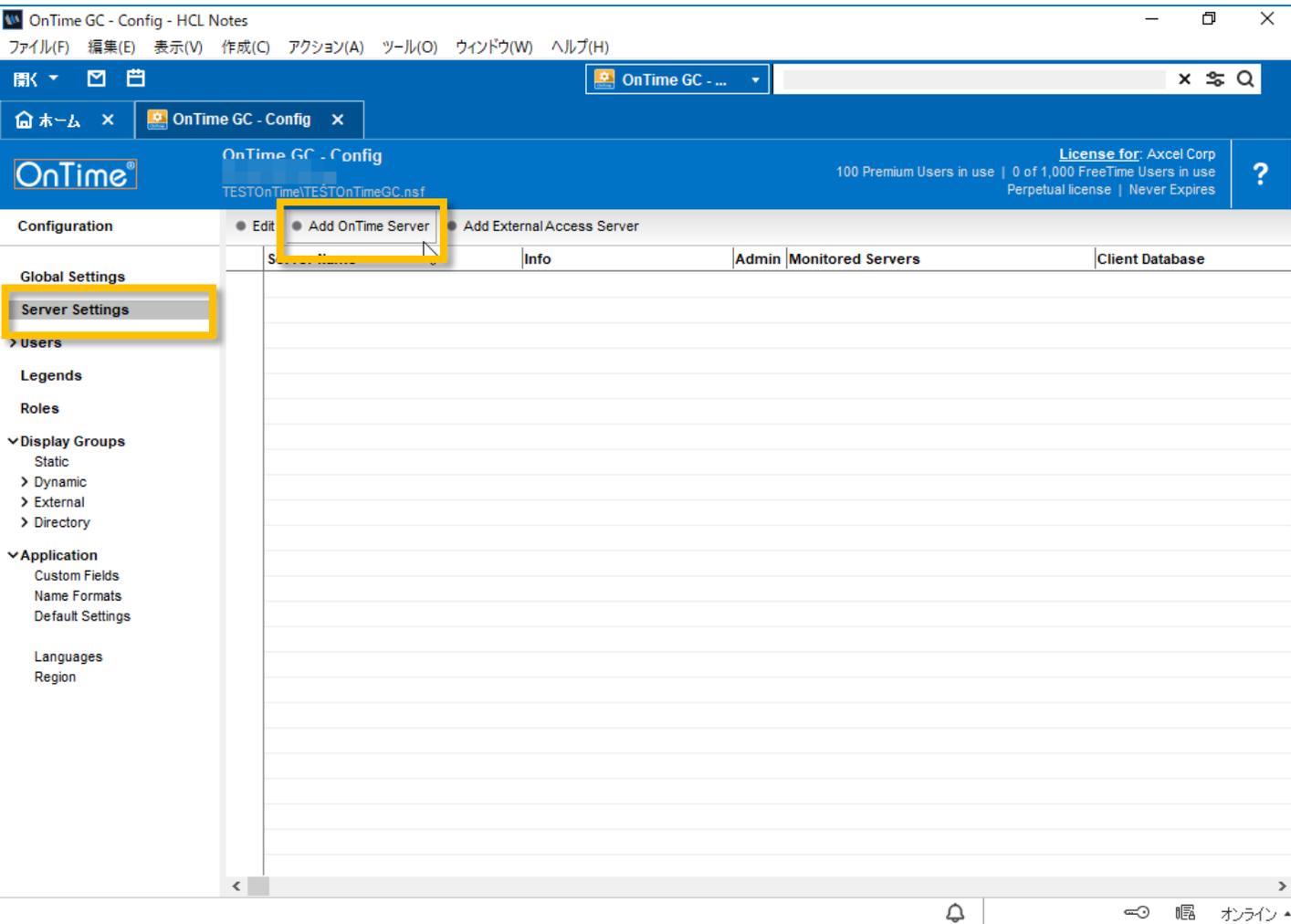
Run Sync Process

Timesync Hourly Daily

オンライン

- 「Directory of Templates」に今回テンプレートを配置したフォルダを指定します
 - 後工程でこのフォルダのテンプレートを使用して関連DBを自動作成します
- 指定後にアクションボタンの「Save & Close」をクリックして文書を保存します

ServerSettings文書を作成します 1



- 次にOnTimeを稼働させるサーバー用に設定文書を作成します
- OnTimeではServerSettings文書と呼んでいます
- ServerSettings文書はOnTimeGCタスクが稼働するサーバー毎に必要ですがモニター監視するメールサーバー毎には必要ありません
- 左サイドメニューから「ServerSettings」をクリックして「ServerSettingsビュー」開いてください
- アクションの「Add OnTime Server」で新規にServerSettings文書を開きます

ServerSettings文書を作成します 2



Synchronisation Server Settings - HCL Notes

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 作成(C) アクション(A) 文字(T) ツール(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

の検索

OnTime GC - Config Synchronisation Server Settings

Save & Close Close Domino Commands Task Commands Servlet Commands

OnTime Server Settings

OnTime Server	[]	OnTime Admin Server	<input type="checkbox"/> Yes
---------------	-----	---------------------	------------------------------

Synchronization Settings

Servers being monitored for synchronisation	[]	OnTime Cluster name	[]
Monitored servers excluded from update in personal mail databases.	[]	Number of Threads per monitored server	[3]
		Max number of Mailfiles to de-queue	[1]

Web Settings

Host URL	[http://]	CORS Allow Origin	[]
Login method Desktop	<input checked="" type="radio"/> Both <input type="radio"/> Password <input type="radio"/> Mail Link	Users allowed to run 'OnBehalfOf'	[]
Mobile	<input checked="" type="radio"/> Both <input type="radio"/> Password <input type="radio"/> Mail Link	Trust All Certificate in Servlet Commands	<input type="checkbox"/> Yes
OnTime Token Timeout	[24] hours	Use Buffer during http response	<input type="checkbox"/> Yes

Database Settings

Data Database	Filepath [ontime\data.nsf] [Open]	Log Database	Log db. filename [ontime/log.nsf] [Open]
Client Database	Filepath [ontime/client.nsf] [Open]	Log Level	<input type="radio"/> No Log <input type="radio"/> Only Errors <input checked="" type="radio"/> Info Only <input type="radio"/> Extended
		Keen Entries	[3] days

オンライン

- 「OnTime Server」
 - OnTimeタスクを動作させるサーバーを指定します
 - 現在作業をしているサーバー名を記述します
- 「OnTime Admin Server」
 - OnTimeの管理サーバーの場合はチェックをします
 - 今回は新規になるのでチェックします
- 「Servers being monitored for synchronisation」
 - モニターする先のメールサーバーを複数値で指定
- 「Number of Threads per monitored server」
 - モニターするメールサーバー毎のスレッドの数です
 - デフォルトの" 3 "のままにします
- 「Max number of Mailfiles to de-queue」
 - 各スレッドが1回あたりに処理するリクエスト数です
 - 全同期メールDBが500以下であれば10を、500以上の環境だと100をお勧めします

ServerSettings文書を作成します 3



Synchronisation Server Settings - HCL Notes

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 作成(C) アクション(A) 文字(T) ツール(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

の検索

OnTime Server: [] OnTime Admin Server: Yes

Synchronization Settings

Servers being monitored for synchronisation: []
Monitored servers excluded from update in personal mail databases: []

OnTime Cluster name: []
Number of Threads per monitored server: [3]
Max number of Mailfiles to de-queue: [1]

Web Settings

Host URL: [http://]
Login method Desktop: Both Password Mail Link
Mobile: Both Password Mail Link
OnTime Token Timeout: [24] hours

CORS Allow Origin: []
Users allowed to run 'OnBehalfOf': []
Trust All Certificate in Servlet Commands: Yes
Use Buffer during http response: Yes

Database Settings

Data Database: Filepath [ontimedata.nsf] Open
Client Database: Filepath [ontimeclient.nsf] Open

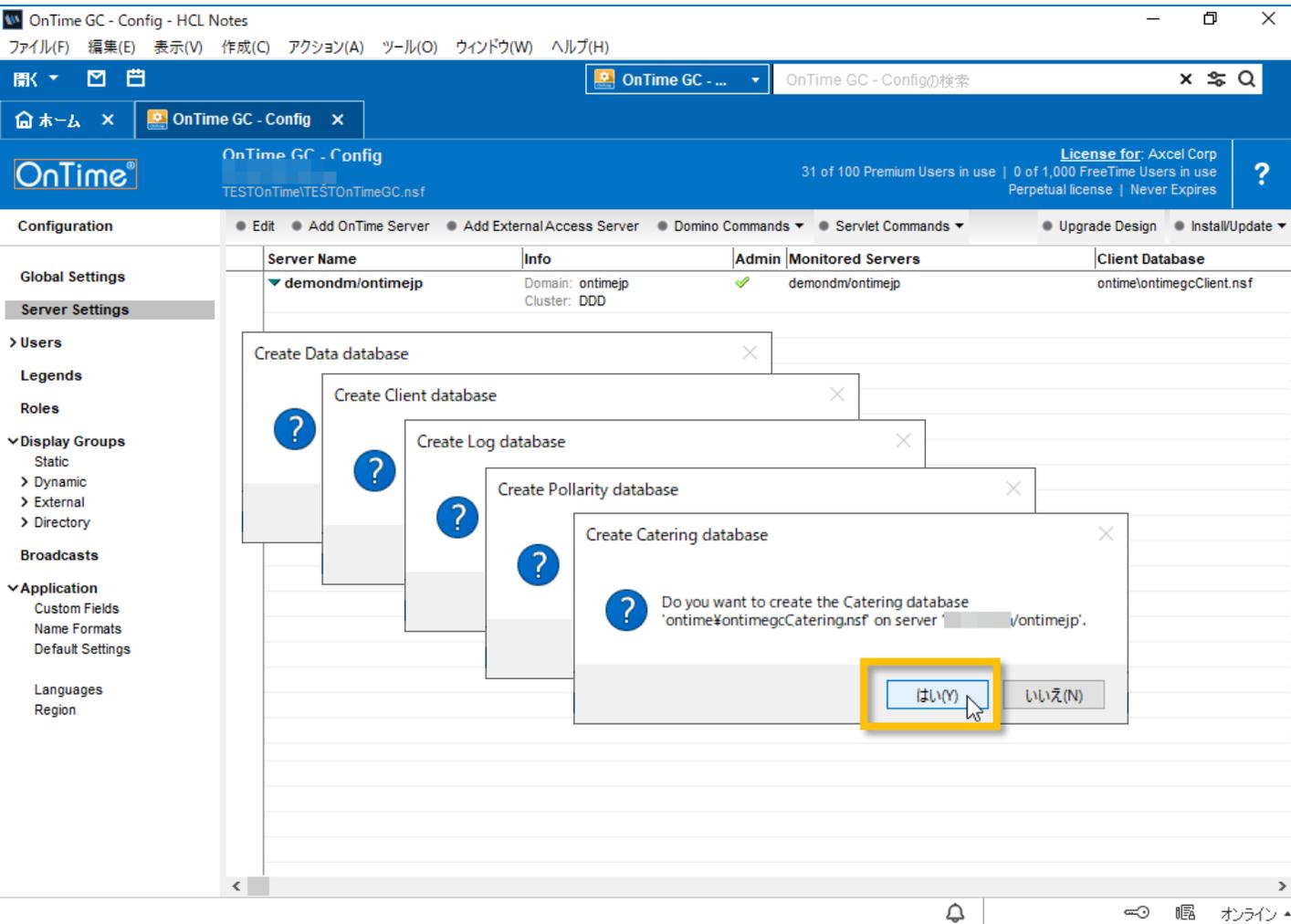
Log Database: Log db. filename [ontime/log.nsf] Open
Log Level: No Log Only Errors Info Only Extended
Keen Entries: [3] days

Save & Close Close Domino Commands Task Commands Servlet Commands

オンライン

- 「Web Settings/Host URL」に OnTimeを動作させるサーバーの接続可能なHOST名かIPアドレスを指定します
- REST接続時にこのURLを使用します
- 「Log Database/Log Level」はエラーだけでなく各コマンドのStart/Stopが確認できる「Info Only」を指定します
- 今回は起動に必要な最低限の設定を行いました
- その他の詳細についてはコンフィギュレーションマニュアルをご参照ください
- アクションボタンの「Save & Close」をクリックして文書を保存します

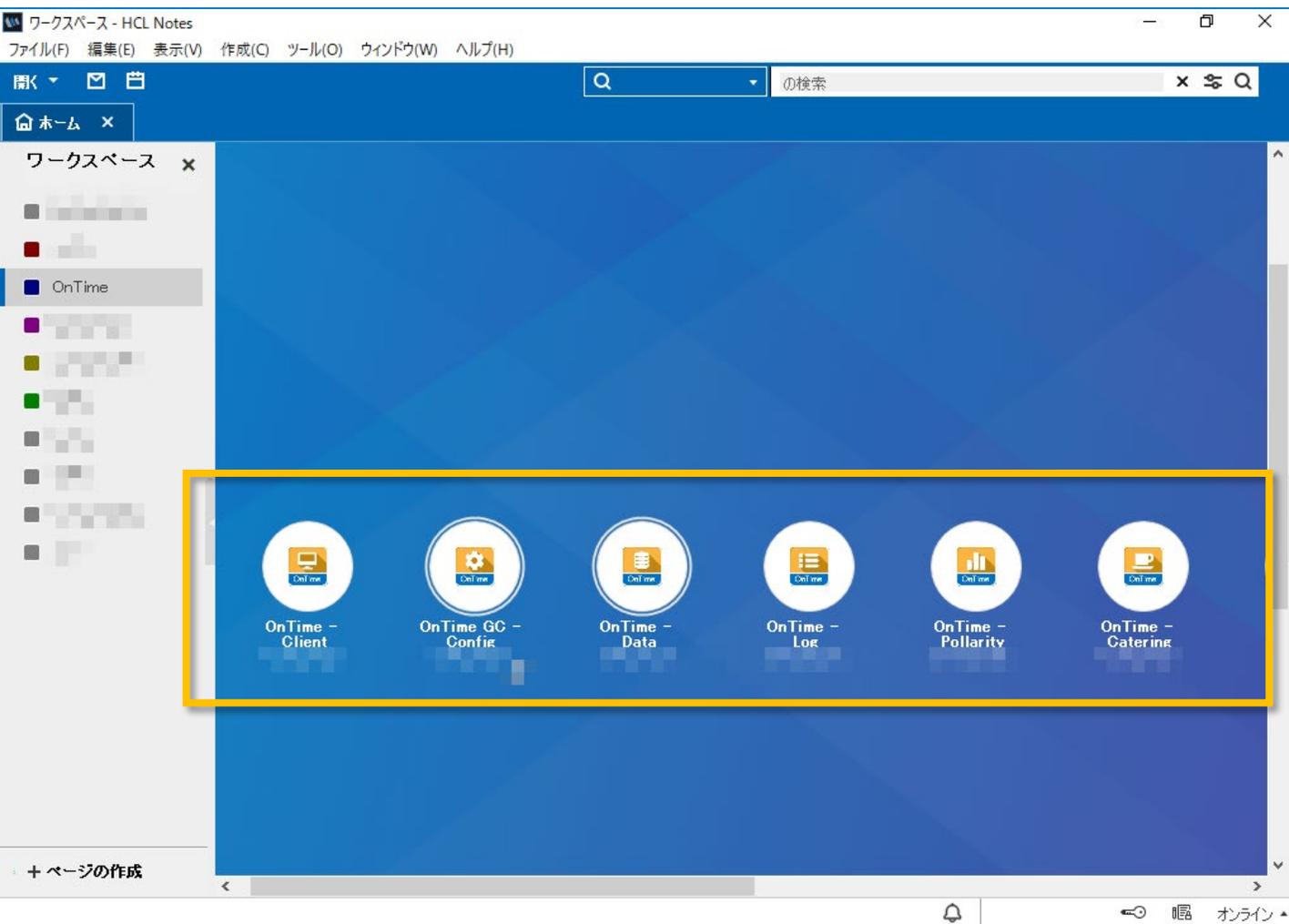
ServerSettings文書を作成します 4



- ServerSettings文書を閉じる際に関連DBがサーバー上で未作成の場合はテンプレートから自動で作成してくれます
- 各DB毎にダイアログメッセージで作成するか確認してくるので「はい」と応えます
- 通常は以下のDBが作成されます
 - データDB
 - クライアントDB
 - 不在申請DB
 - ログDB
 - 日程調整DB *
 - ケータリングDB *

*ご購入ライセンスによっては作成されない場合もあります

ServerSettings文書を作成します 5



- ワークスペースに戻ります
- ワークスペースには先ほど作成した ConfigDBとその他関連DBが
できています
- OnTimeは主にConfigDBとDataDB
にユーザー情報やユーザーのカレンダー
情報等を保持します

メール同期前のConfigDBのUsers文書を確認



The screenshot shows the OnTime GC - Config web interface. The left sidebar contains a navigation menu with categories: Global Settings, Server Settings (highlighted), Legends, Roles, Display Groups, Application, and Languages. Under Server Settings, the 'Users' document is selected and highlighted with a yellow box. The main content area displays a table with columns: User Name, Total, Display Name, Short Name, Email, and Mail Domain. The table is currently empty, showing only a header row and a total count of 0. The top of the interface shows the OnTime logo, the current configuration name 'TESTOnTime\TESTOnTimeGC.nsf', and license information for 'Axcel Corp'.

- 「Users」ビューにはGlobalSettings文書で指定した同期対象のユーザー、会議室やリソースが表示されます
- Users文書にはユーザーや会議室などのプロフィール情報やメールDBの場所、アクセス制御リスト(ACL)、ロール権限、会議可能時間帯など固有の情報を保持します
- Domino Directoryから同期対象の取得処理を行うのは「Admin」というコマンドですがまだ実行していないので1文書も存在しません

メール同期前のDataDBのCalendars文書を確認



OnTime - Data - HCL Notes

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 作成(C) アクション(A) ツール(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

開く 送信 日付

OnTime - Data OnTime - Dataの検索

ホーム OnTime GC - Config OnTime - Data

OnTime® ontime\ontimegcData.nsf

Data

User Name / Email	ID	LastSync	LastFullSync	Use	Items Count
					0

Calendars

Custom Fields Data

Groups

Images

User Settings

1文書を選択しました

オンライン

- OnTime DataDBの「Calendars」ビューにはConfigDBのUsersビューに表示されている同期対象のユーザー、会議室やリソースそれぞれのUsers文書と対になるCalendars文書が表示されます
- Calendars文書にはメールDBやリソース予約DBから取得するスケジュールデータだけでなくプリファレンスやリソース文書の情報、アクセス制御リスト(ACL)の情報も保持します
- アクセス制御リストやプリファレンスの情報は最終的に「Admin」コマンドでUsers文書に反映します
- メールDBやリソース予約DBからの同期処理を行うのは「Sync」「FullSync」というコマンドですがまだ実行していないので1文書も存在しません

OnTimeGCタスクとサーブレットのインストール 1

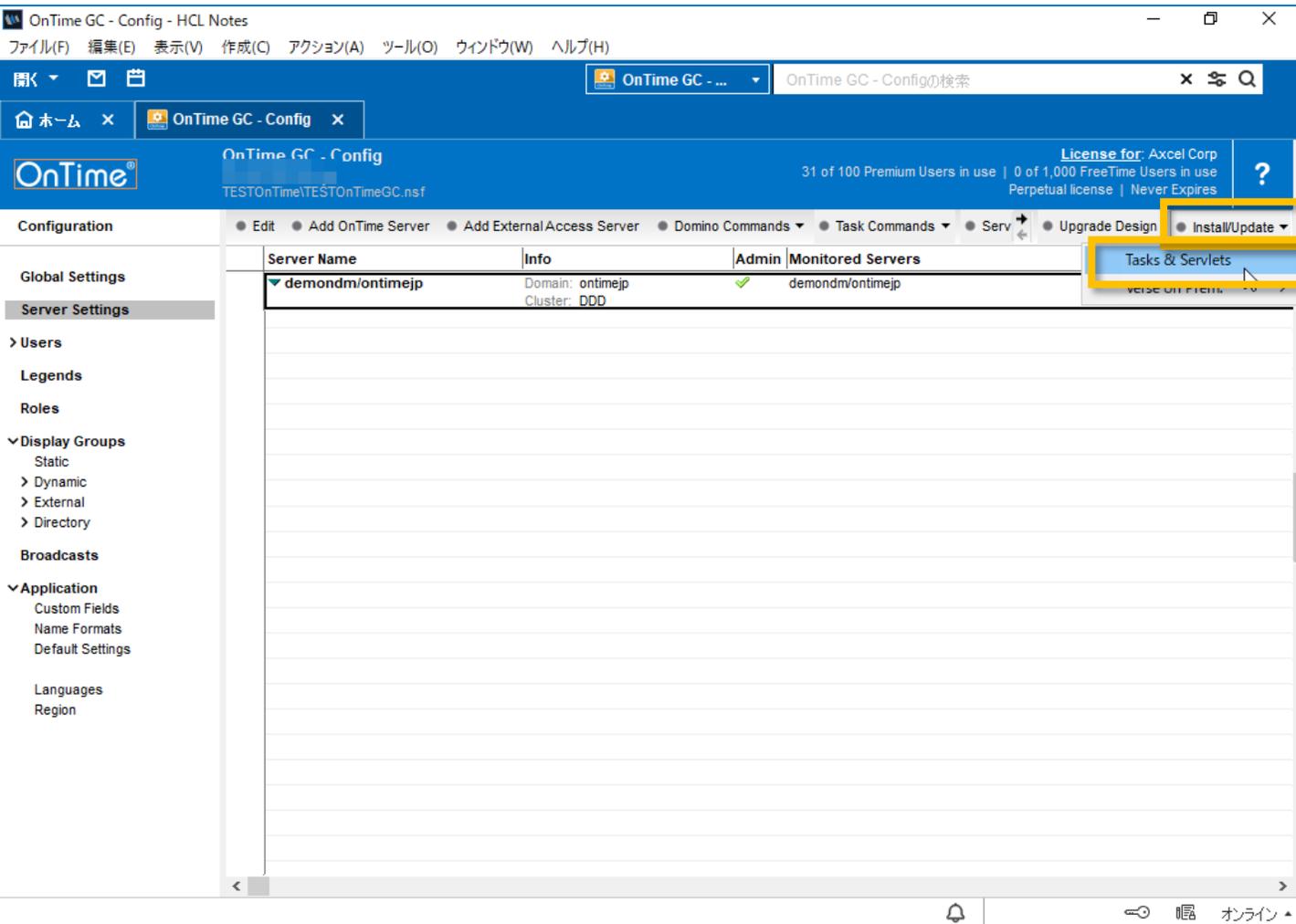


The screenshot shows the OnTime GC - Config web interface. The top navigation bar includes buttons for 'Edit', 'Add OnTime Server', 'Add External Access Server', 'Domino Commands', 'Task Commands', 'Serv', 'Upgrade Design', and 'Install/Update'. The 'Install/Update' button is highlighted with a yellow box. Below the navigation bar, there is a table with columns for 'Server Name', 'Info', 'Admin', 'Monitored Servers', and 'Client Database'. The first row shows 'demondm/ontimejp' with a green checkmark in the Admin column and 'ontime/ontimegcClient.nsf' in the Client Database column. The left sidebar contains various settings categories, with 'Server Settings' highlighted in a yellow box.

Server Name	Info	Admin	Monitored Servers	Client Database
demondm/ontimejp	Domain: ontimejp Cluster: DDD	✓	demondm/ontimejp	ontime/ontimegcClient.nsf

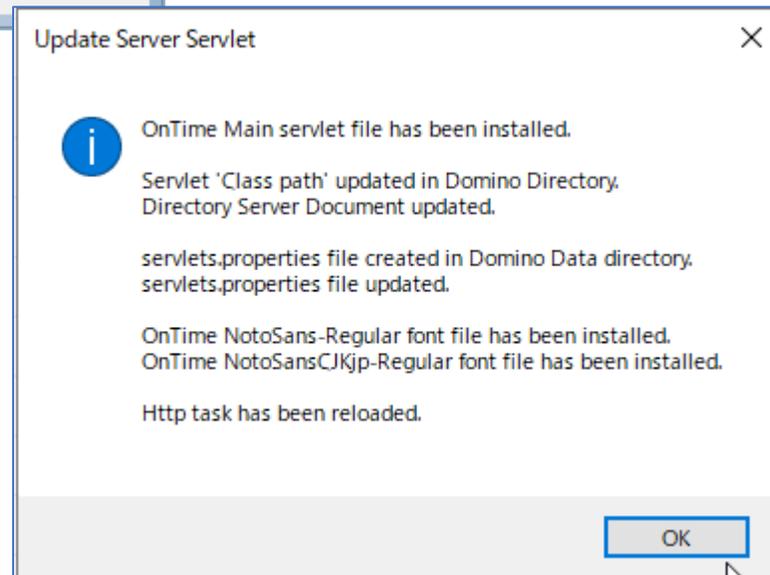
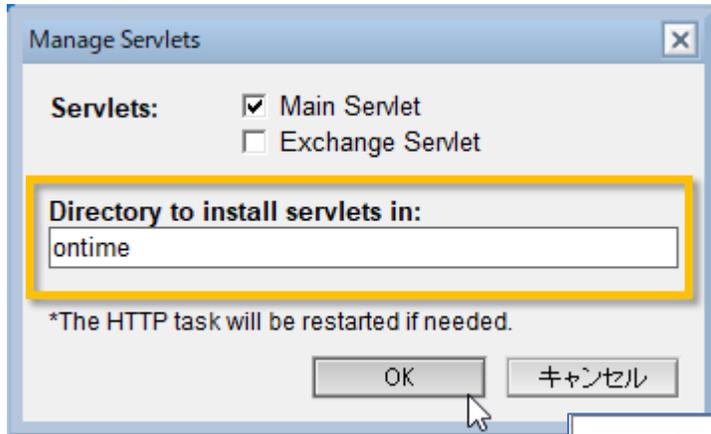
- OnTime Group Calendarは、OnTimeが動作するDominoサーバーでOnTimeGCタスクを稼働させることでスケジュールデータを同期します
- OnTimeGCタスクとサーブレットのインストールやアップグレードはConfigDBのServerSettingsビューにあるアクションボタンの右端に表示されるボタンから実行します

OnTimeGCタスクとサーブレットのインストール 2



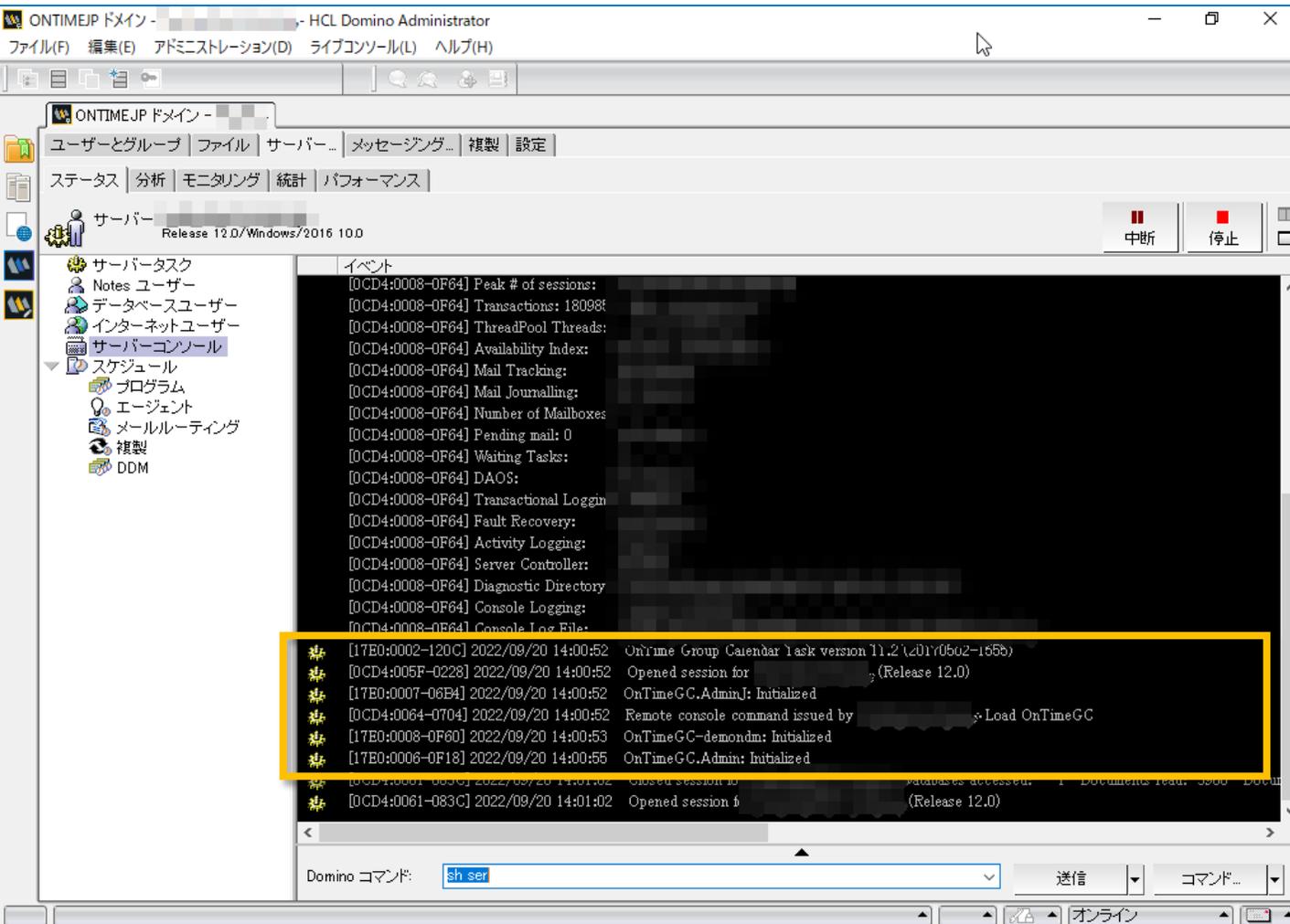
- 「Install/Upgrade」ボタンをクリックして開き「Tasks & Servlets」をクリックして実行します
- OnTimeはConfigDBの設計の中にタスクとサーブレットの実態ファイルを保持しています
- そのファイルをOnTimeサーバーのDominoデータフォルダに配備します
- 故にファイルシステムにアクセスする権限が無い場合はエラーになります

OnTimeGCタスクとサーブレットのインストール 3



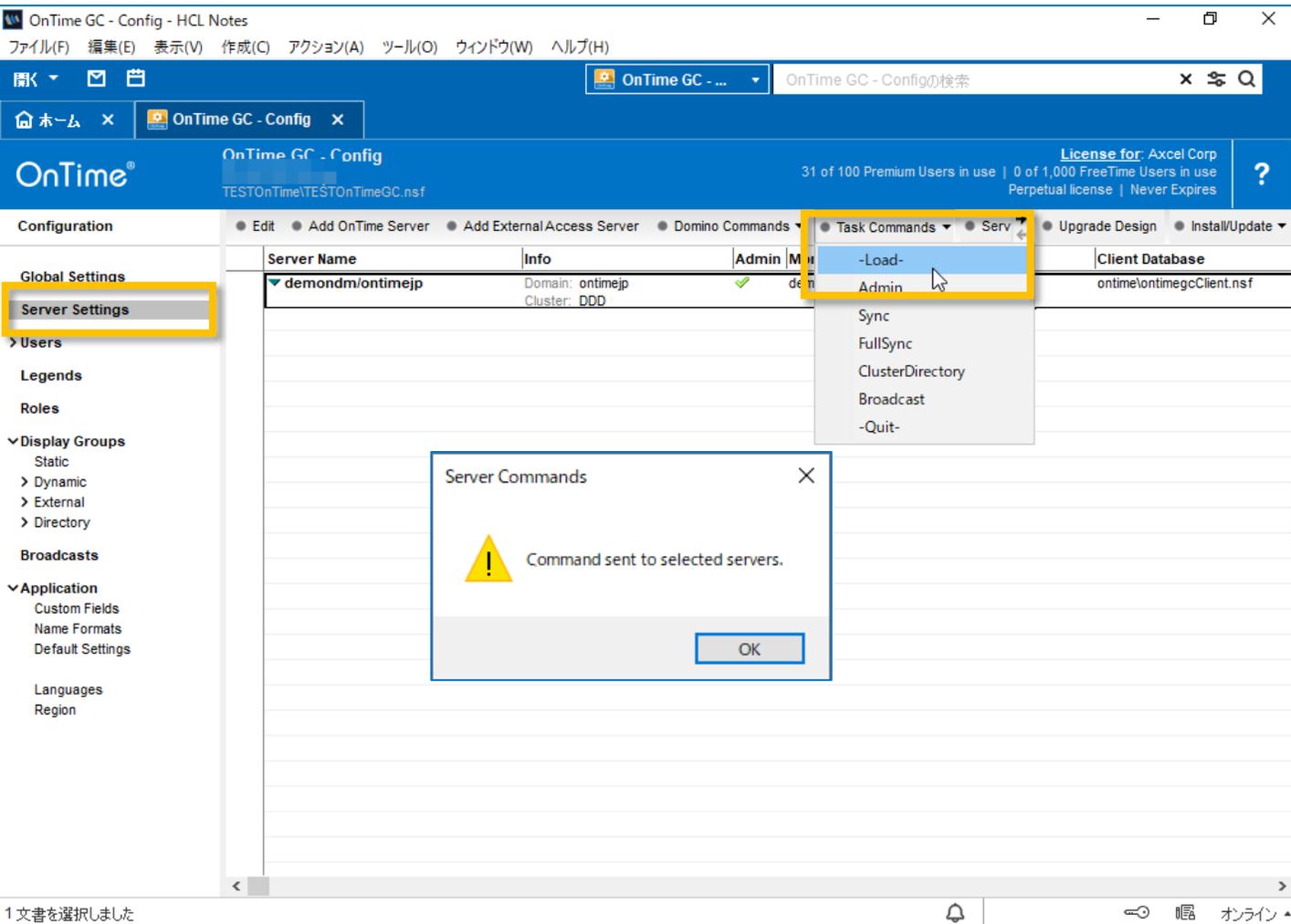
- サーブレットのインストールのためにダイアログが開きます
- 保存先のフォルダなどを聞かれますが何も変更せずに「OK」を押します
- 正常に実行すると左図のようなダイアログが表示されます
- 内容は実際に行われた処理を表示しています
 - サーブレットのインストール
 - サーバー文書の編集
 - Servlets.propatiesファイルの編集
 - 利用するフォントのインストール
 - httpタスクの再起動
- エラーメッセージが表示された場合は管理者にご相談ください

OnTimeGCタスクとサーブレットのインストール 4



- OnTimeタスクとして行われた処理
 - タスクのインストール
 - notes.iniのServerTasks行に追加

OnTimeGCタスクとサーブレットのインストール 5



- 「Task Commands」ボタンをクリックして開き「-Load-」をクリックして実行します
- 実行が完了するとコマンド実行完了のダイアログが表示されます

OnTimeGCタスクとサーブレットのインストール 6



The screenshot shows the OnTime GC Config web interface. The left sidebar has a tree view with 'Users' selected and highlighted with a yellow box. The main area displays a table of users with columns for 'User Name', 'Total', 'Display Name', 'Short Name', 'Email', and 'Mail Domain'. The table contains 14 rows of user data, including free addresses and meeting rooms.

User Name	Total	Display Name	Short Name	Email	Mail Domain
フリーアドレス1/Osaka		フリーアドレス1 - Osaka			ontimejp
フリーアドレス2/Osaka		フリーアドレス2 - Osaka			ontimejp
プロジェクト1/備品/Osaka		プロジェクト1 - Osaka			ontimejp
プロジェクト2/備品/Osaka		プロジェクト2 - Osaka			ontimejp
プロジェクト3/備品/Tokyo1		プロジェクト3 - Tokyo1			ontimejp
プロジェクト4/備品/Tokyo1		プロジェクト4 - Tokyo1			ontimejp
会議室1/Osaka		会議室1 - Osaka			ontimejp
会議室2/Osaka		会議室2 - Osaka			ontimejp
会議室3/Tokyo1		会議室3 - Tokyo1			ontimejp
会議室4/Tokyo1		会議室4 - Tokyo1			ontimejp
会議室5/Osaka		会議室5 - Osaka			ontimejp
会議室6/Osaka		会議室6 - Osaka			ontimejp
会議室7/Tokyo1		会議室7 - Tokyo1			ontimeio

- Domino Directoryから同期対象の取得処理を行うのは「Admin」というコマンドであることは前述しています
- 「Admin」コマンドはOnTimeGCタスクを起動時に実行されるように指定されているので「Users」ビューを見ると同期対象が文書として生成されていることが確認できます

スケジュール同期コマンドを実行 1



The screenshot shows the OnTime GC - Config application window. The left sidebar has 'Server Settings' highlighted. The main table lists servers, with 'demondm/ontimejp' selected. A context menu is open over this server, and 'FullSync' is highlighted. A 'Server Commands' dialog box is displayed in the foreground, showing a warning icon and the message 'Command sent to selected servers.' with an 'OK' button.

- Users文書が作成されたところで、初回のスケジュール同期を実行します
- ServerSettingsビューでServerSettings文書が選択された状態からアクションボタンの「Task Commands/FullSync」を実行します
- 正しく実行できた場合は右下のダイアログメッセージと同じ内容が表示されます
- 違うメッセージが表示された場合は、作業者がサーバーに対して十分な権限があるか確認してください
- なお「FullSync」コマンドは通常バージョンアップと凡例の変更を行った時だけ実施します

スケジュール同期コマンドを実行 2



User Name / Email	ID	LastSync	LastFullSync	Use	Items Count
	8		2022/03/08 10:00:01		0
	B		2022/09/20 14:02:25		3
	13		2022/09/20 14:02:26		0
	R		2022/09/20 14:02:26		46
	N		2022/09/20 14:02:29		171
	O		2022/09/20 14:02:30		114
	6		2022/09/08 17:43:30		1
	9		2022/09/08 17:43:30		0
	A		2022/09/08 17:43:30		0
	X		2022/09/15 11:00:03		26
	1		2022/09/15 11:00:04		57
	S		2022/09/20 14:02:26		20
	P		2022/09/20 14:02:27		103
	Q		2022/09/20 14:02:28		99
	D		2022/09/20 14:02:28		2
	S1				241
フザーアドレス1/Osaka	11		2022/09/08 17:43:30		19
フザーアドレス2/Osaka	12		2022/09/08 17:43:30		11
プロジェクト1/備品/Osaka	T		2022/09/20 14:02:31		24
プロジェクト2/備品/Osaka	U		2022/09/20 14:02:31		19
プロジェクト3/備品/Tokyo1	V		2022/09/08 17:43:29		9
プロジェクト4/備品/Tokyo1	W		2022/09/08 17:43:29		0
会議室1/Osaka	2		2022/09/20 14:02:30		42
会議室2/Osaka	3		2022/09/20 14:02:30		31
会議室3/Tokyo1	4		2022/09/20 14:02:31		29
会議室4/Tokyo1	5		2022/09/20 14:02:31		17
会議室5/Osaka	E		2022/09/08 17:43:29		11
会議室6/Osaka	F		2022/09/08 17:43:29		16
会議室7/Tokyo1	G		2022/09/08 17:43:29		13
会議室8/Tokyo1	H		2022/09/08 17:43:29		6
					1,130

- FullSyncの結果は OnTime DataDB「Calendars」ビューを見ると同期対象が文書として生成されて且つFullSyncの最終更新日時が確認できます

スケジュール同期コマンドを実行 3



The screenshot shows the OnTime GC - Config application window. The 'Server Settings' tab is selected in the left sidebar. The main area displays a table of servers. The 'Task Commands' menu is open, and the 'Sync' option is highlighted. A 'Server Commands' dialog box is displayed in the foreground, showing a warning icon and the message 'Command sent to selected servers.' with an 'OK' button.

- ServerSettingsビューで ServerSettings文書が選択された状態からアクションボタンの「Task Commands/Sync」を実行します
- 正しく実行できた場合は右下のダイアログメッセージと同じ内容が表示されます
- 違うメッセージが表示された場合は、作業者がサーバーに対して十分な権限があるか確認してください
- なお「Sync」コマンドはユーザーが更新したメールDBのプロファイルをすぐに反映したい時以外は実行しません
- OnTimeは常にリアルタイムにSyncを行っています

スケジュール同期コマンドを実行 4



User Name / Email	ID	LastSync	LastFullSync	Use	Items Count
	8		2022/03/08 10:00:01		0
	B	2022/09/20 14:02:57	2022/09/20 14:02:25		3
	13	2022/09/20 14:02:57	2022/09/20 14:02:26		0
	R	2022/09/20 14:02:57	2022/09/20 14:02:26		46
	N	2022/09/20 14:02:57	2022/09/20 14:02:29		171
	O	2022/09/20 14:02:57	2022/09/20 14:02:30		114
	6	2022/09/20 14:02:57	2022/09/20 14:02:31		1
	9	2022/09/20 14:02:58	2022/09/20 14:02:31		0
	A	2022/09/20 14:02:58	2022/09/20 14:02:31		0
	X	2022/09/20 14:02:58	2022/09/20 14:02:32		26
	1	2022/09/20 14:02:58	2022/09/20 14:02:33		57
	S	2022/09/20 14:02:58	2022/09/20 14:02:26		20
	P	2022/09/20 14:02:58	2022/09/20 14:02:27		103
	Q	2022/09/20 14:02:58	2022/09/20 14:02:28		99
	D	2022/09/20 14:02:58	2022/09/20 14:02:28		2
	S1	2021/03/09 00:00:01			241
ブザーアドレス1/Osaka	11	2022/09/20 14:02:57	2022/09/20 14:02:31		19
ブザーアドレス2/Osaka	12	2022/09/20 14:02:57	2022/09/20 14:02:31		11
プロジェクト1/備品/Osaka	T	2022/09/20 14:02:57	2022/09/20 14:02:31		24
プロジェクト2/備品/Osaka	U	2022/09/20 14:02:57	2022/09/20 14:02:31		19
プロジェクト3/備品/Tokyo1	V	2022/09/20 14:02:57	2022/09/20 14:02:31		9
プロジェクト4/備品/Tokyo1	W	2022/09/20 14:02:57	2022/09/20 14:02:31		0
会議室1/Osaka	2	2022/09/20 14:02:57	2022/09/20 14:02:30		42
会議室2/Osaka	3	2022/09/20 14:02:57	2022/09/20 14:02:30		31
会議室3/Tokyo1	4	2022/09/20 14:02:57	2022/09/20 14:02:31		29
会議室4/Tokyo1	5	2022/09/20 14:02:57	2022/09/20 14:02:31		17
会議室5/Osaka	E	2022/09/20 14:02:57	2022/09/20 14:02:31		11
会議室6/Osaka	F	2022/09/20 14:02:57	2022/09/20 14:02:31		16
会議室7/Tokyo1	G	2022/09/20 14:02:57	2022/09/20 14:02:31		13
会議室8/Tokyo1	H	2022/09/20 14:02:57	2022/09/20 14:02:31		6
					1,130

- Syncの結果は OnTime DataDB「Calendars」ビューを見ると同期対象のSyncの最終更新日時が確認できます

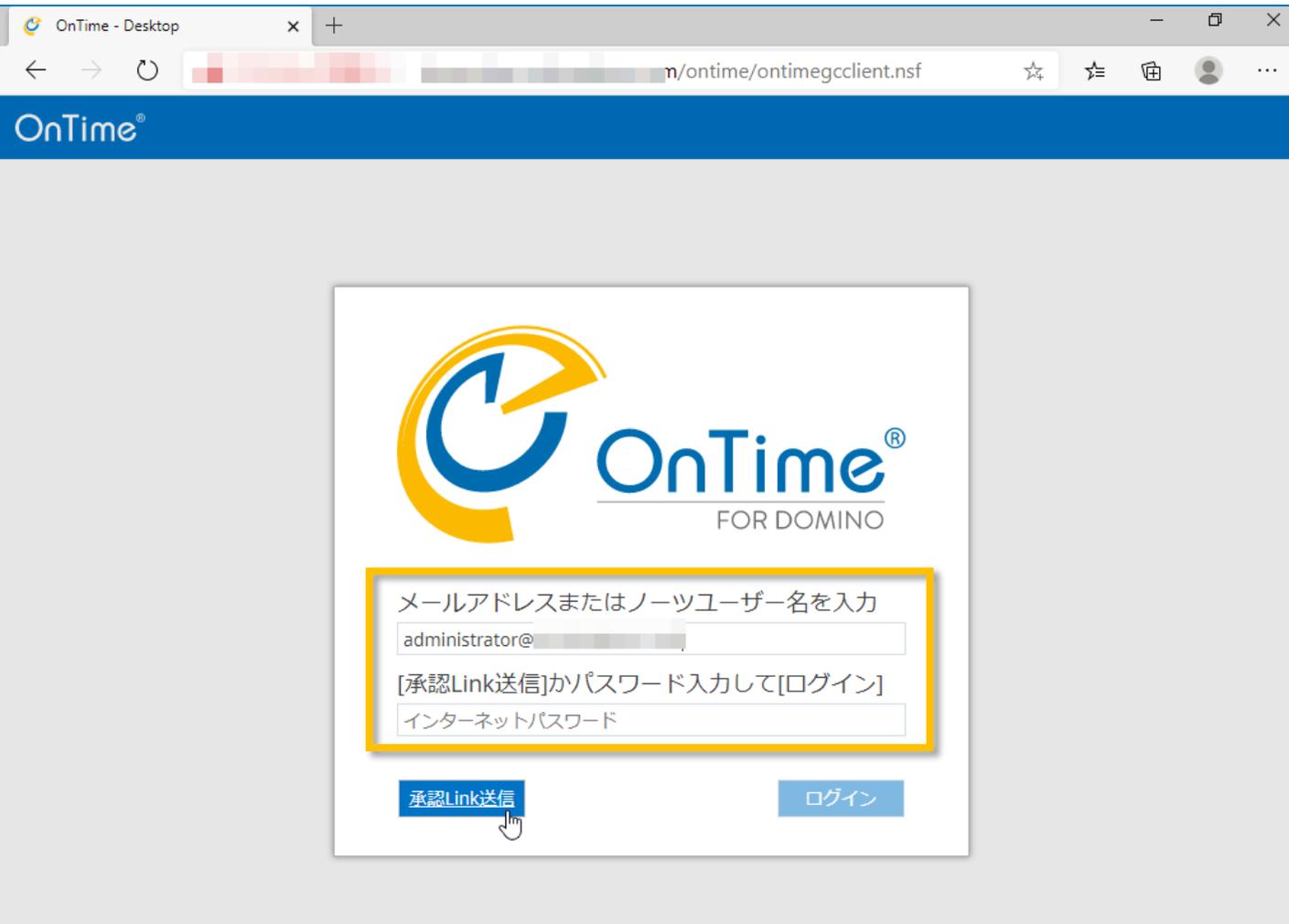
「Admin」コマンドの再実行



The screenshot shows the OnTime GC - Config interface. The 'Server Settings' section is highlighted in the left sidebar. The main table lists servers, with 'demondm/ontimejp' selected. The 'Admin' command is highlighted in the 'Task Commands' dropdown menu. A 'Server Commands' dialog box is open, displaying a warning icon and the message 'Command sent to selected servers.' with an 'OK' button.

- 最後にSync系コマンドで取得した情報をCalendars文書からUsers文書に反映させます
- ServerSettingsビューでServerSettings文書が選択された状態からアクションボタンの「Task Commands/Admin」を実行します
- 正しく実行できた場合は右下のダイアログメッセージと同じ内容が表示されます
- 違うメッセージが表示された場合は、作業者がサーバーに対して十分な権限があるか確認してください

ブラウザからOnTimeクライアントを起動 1



- それではOnTimeが正常稼働しているかクライアントを起動して確認します
- ブラウザからOnTimeが稼働するDominoサーバーに接続します
 - `http://HOSTNAME/OnTime/OnTimeGCClient.nsf`
- OnTimeForDominoのセッションログイン画面が出てきたらOnTimeに同期しているユーザー名とインターネットパスワードでログインします
- セッションログイン画面以外のページ表示の場合はそのユーザーがインターネットからDominoにログインできない可能性があります
- Domino運用管理者に相談してください
- インターネットパスワードを利用しないログインも可能です。(次ページ)

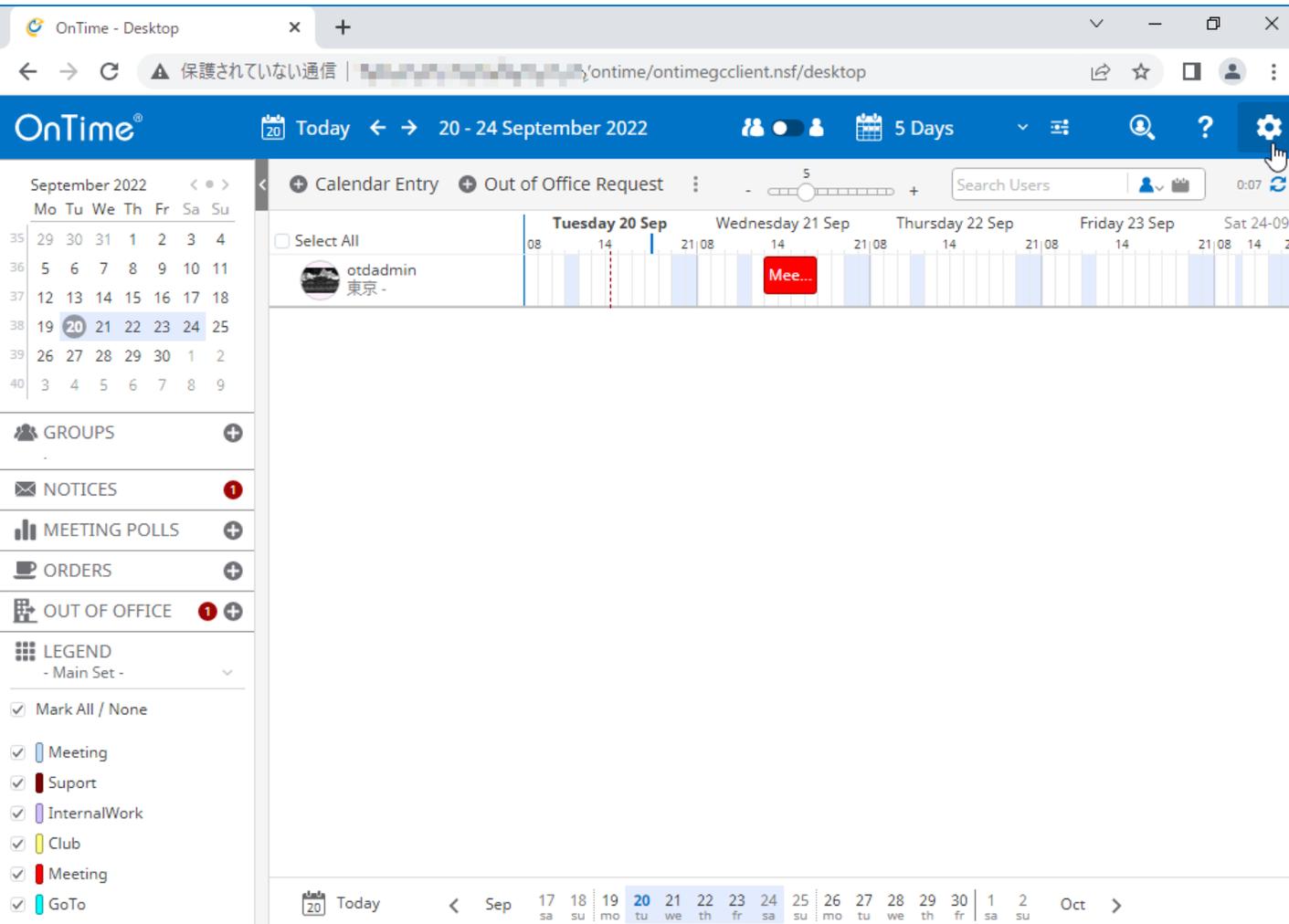
ブラウザからOnTimeクライアントを起動 2



The screenshot shows the OnTime login interface in a browser window. The main window displays the OnTime logo and a text input field for the user's email address or notebook user name, with the example 'ontimedemo.com' entered. A '承認Link送信' (Send Approval Link) button is highlighted with a yellow box. Below this, a smaller window shows an email message titled 'OnTime Group Calendar ログインLink'. The email body contains a message in Japanese and a highlighted link: 'http://[redacted]'. The browser's address bar at the bottom shows the URL 'http://[redacted]'. The OnTime logo is also visible in the top left corner of the browser window.

- インターネットパスワードを利用せずに OnTimeへログインできます。
- OnTimeForDominoのログイン画面表示後、ユーザーのメールアドレスを入力し「承認Link送信」ボタンを押します。(ブラウザ画面はそのままにしてください)
- メールボックスを確認するとログイン Linkが本文内に記載されたメールが届いているので、記載されたリンクをクリックします。
- リンクのクリック後、開いたままにしておいたブラウザに戻るとOnTime画面が表示されます。

ブラウザからOnTimeクライアントを起動 3



- 左図のようなOnTimeの画面が表示されればご利用いただけます
- 各種設定を行っていないのでデフォルトの英語画面で表示されます
- 既にノーツのカレンダーをご利用の場合は予定が表示されているかも知れませんね

NotesからOnTimeクライアントを起動 1



Synchronisation Server Settings - HCL Notes

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 作成(C) アクション(A) 文字(T) ツール(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

開く 検索

ホーム OnTime GC - Config Synchronisation Server Settings

Save & Close Close Domino Commands Task Commands Servlet Commands

Synchronization Settings

Servers being monitored for synchronisation: [redacted]

Monitored servers excluded from update in personal mail databases: [redacted]

OnTime Cluster name: DDD

Number of Threads per monitored server: 3

Max number of Mailfiles to de-queue: 10

Web Settings

Host URL: http://[redacted].com

Login method Desktop: Both Password Mail Link

Mobile: Both Password Mail Link

OnTime Token Timeout: 240 hours

CORS Allow Origin: [redacted]

Users allowed to run 'OnBehalfOf': [redacted]

Trust All Certificate in Servlet Commands: Yes

Use Buffer during http response: Yes

Database Settings

Data Database Filepath: [redacted] Open

Client Database Filepath: [redacted] Open

Launch Desktop in Notes Client: Yes

Out Of Office Database Filepath: [redacted] Open

Log Database Log db. filename: [redacted] Open

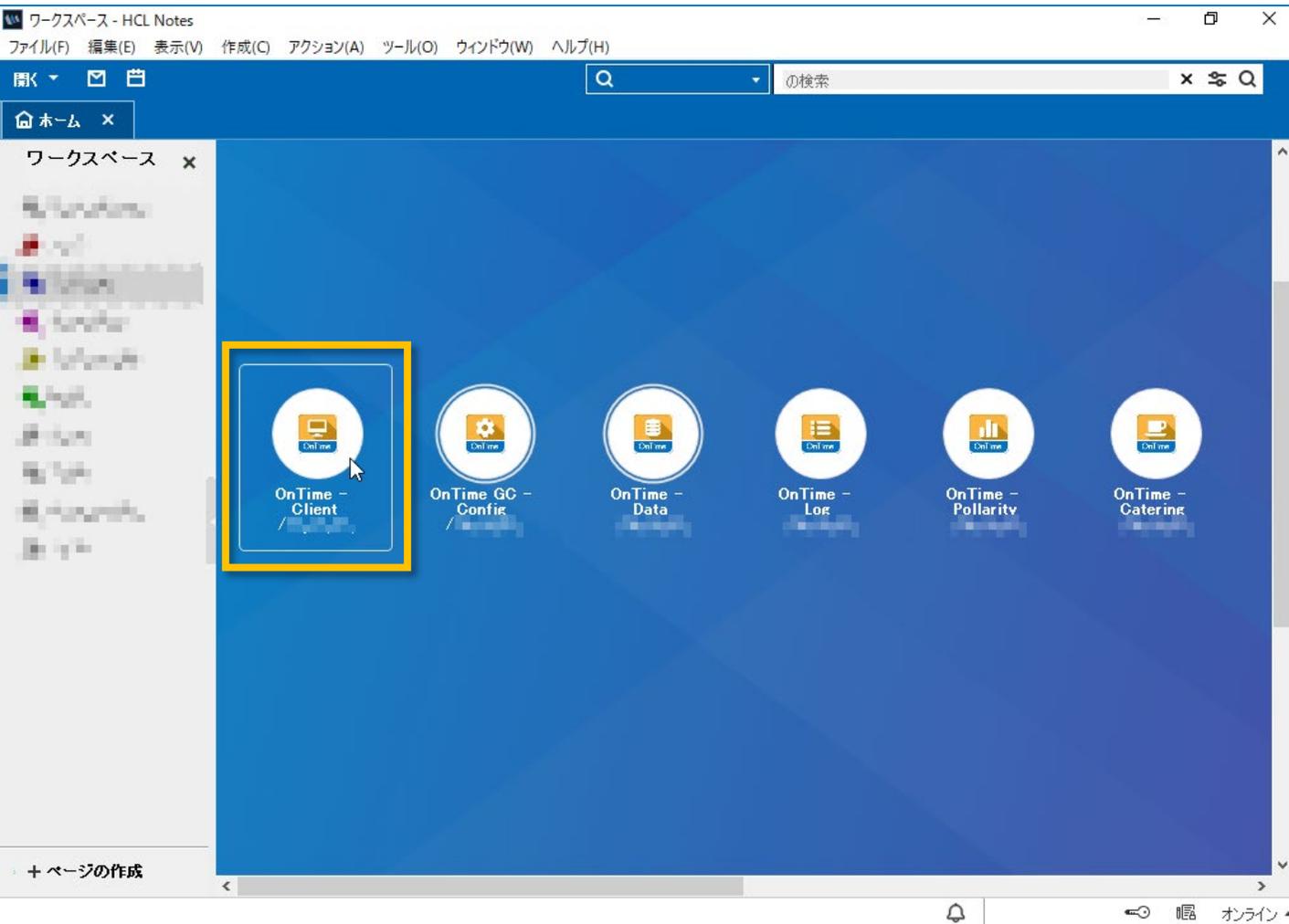
Log Level: No Log Only Errors Info Only Extended

Keep Entries: 16 days

1 文書を選択しました

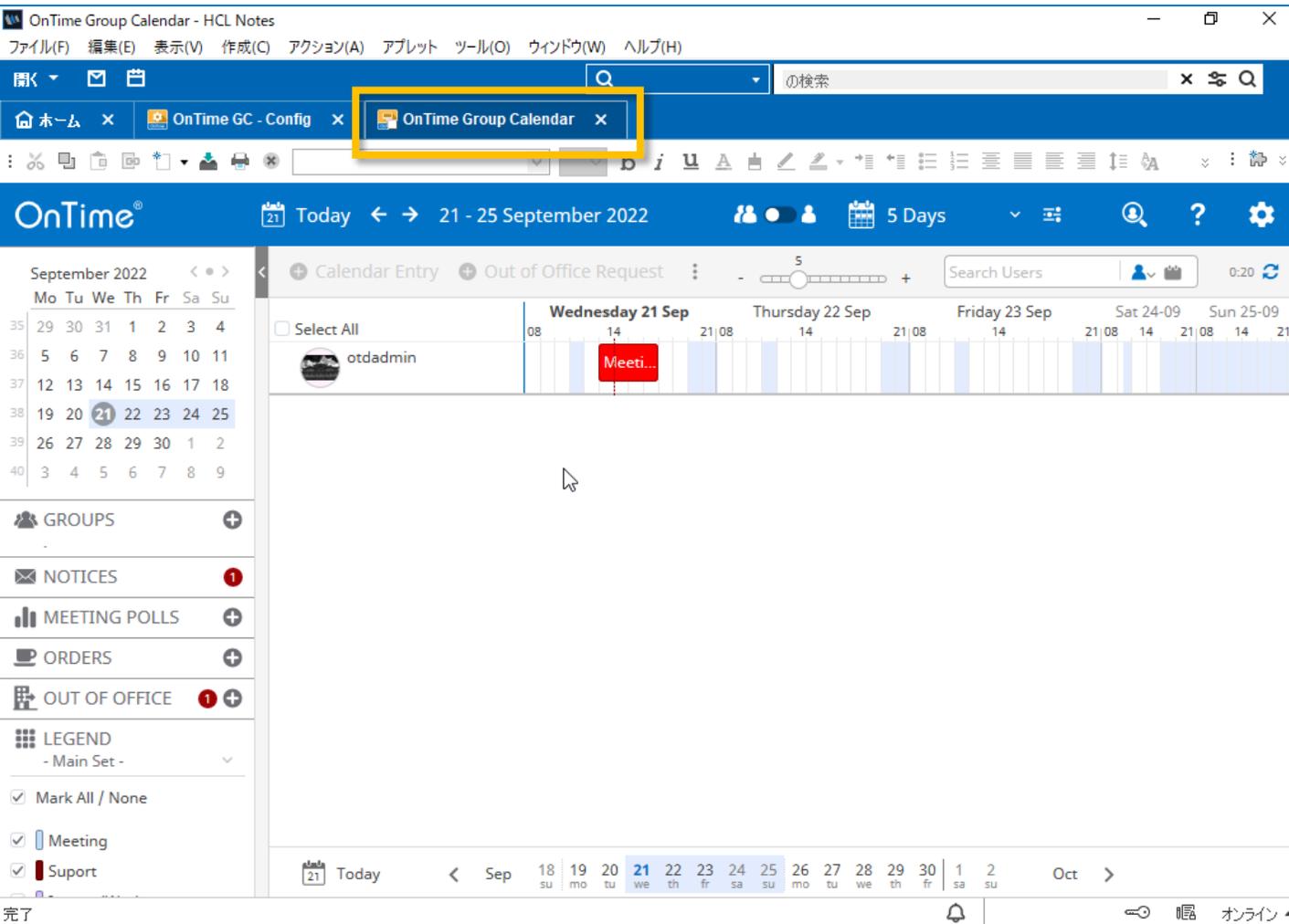
- 次にNotesクライアントから起動するテストを行います
※該当する端末からInternet Explorerがアンインストールされている場合、Notesクライアントからは正常に動作しない場合があります。
- Notesクライアントから起動する際はアプリケーションの1つとして振る舞うのでセッションロゲインなどの手順を必要としません
- ServerSettings文書を開き左図の通り「Launch Desktop in Notes Client」にチェックをつけて保存します

NotesからOnTimeクライアントを起動 2



- OnTimeで同期をしているユーザーのNotesクライアントのワークスペースから「OnTime GC - Client」をNotesのその他のアプリケーションのようにダブルクリックで起動します

NotesからOnTimeクライアントを起動 3



- Notes内でOnTimeが起動されます
- 特徴としては以下の通り
 - URLバーが表示されません
 - セッションログインを必要としません
- Notesからの利用とブラウザでの利用で機能に差はありません

デフォルト設定を準備 1



The screenshot shows the OnTime GC - Config web interface. The left sidebar contains a navigation menu with categories like Global Settings, Server Settings, Users, Legends, Roles, Display Groups, and Application. The 'Application' section is expanded, and 'Default Settings' is selected. The main content area displays a table with columns for 'Settings Name', 'Members / Excluded', and 'Names Count'. A single row labeled 'Default' is visible. The 'Edit' button in the top navigation bar is highlighted with a yellow box. The status bar at the bottom indicates '1 文書を選択しました'.

- ここからはコンフィギュレーションマニュアルと重複します
- OnTimeはデフォルト設定を複数管理できます
- 日本語向け、外国語向け、ブロードバンド拠点向け、ナローバンド拠点向けなど様々なグループ毎に準備できます
- 今回はワイルドカードを使用したデフォルト設定を日本語向けに編集します
- 「Application/Default Settings」ビューを表示すると既にデフォルト用の文書が表示されています
- アクションボタンの「Edit」から編集します

デフォルト設定を準備 2



Default Setting - HCL Notes

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 作成(C) アクション(A) 文字(T) ツール(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

開く 検索

ホーム OnTime GC - Config Default Setting

Save & Close Close

Default Settings

Name Default

Members * Excluded

Settings

Global Out of Office Shared Desk Desktop Mobile Connections

Language 日本語

Region 日本語 (月曜始まり)

Start/End hour 8 - 18

Row Height 2

Show Weekends Yes

Show User in Top Yes

Name Format Firstname Lastname

Avatar background color Yes

Primary Sort order Team Cal: 1 Persons: 2 Rooms: 3 Resources: 4 Shared Desks: 5

Notify Host Always On Default On Default Off Always Off

Meetings longer than 24h No Yes Yes with warning

オンライン

- LanguageとRegionをそれぞれ「日本語」「日本語」に変更します (Regionで「日曜始まり」も選択できます)
- Name Formatは各ユーザーの名前表示などを指定できる機能ですが、まだ準備ができていませんのでそのままです
- その他の項目についても変更する場合はコンフィギュレーションマニュアルを参照の上ご準備ください
- 変更完了後「Save & Close」ボタンで閉じます

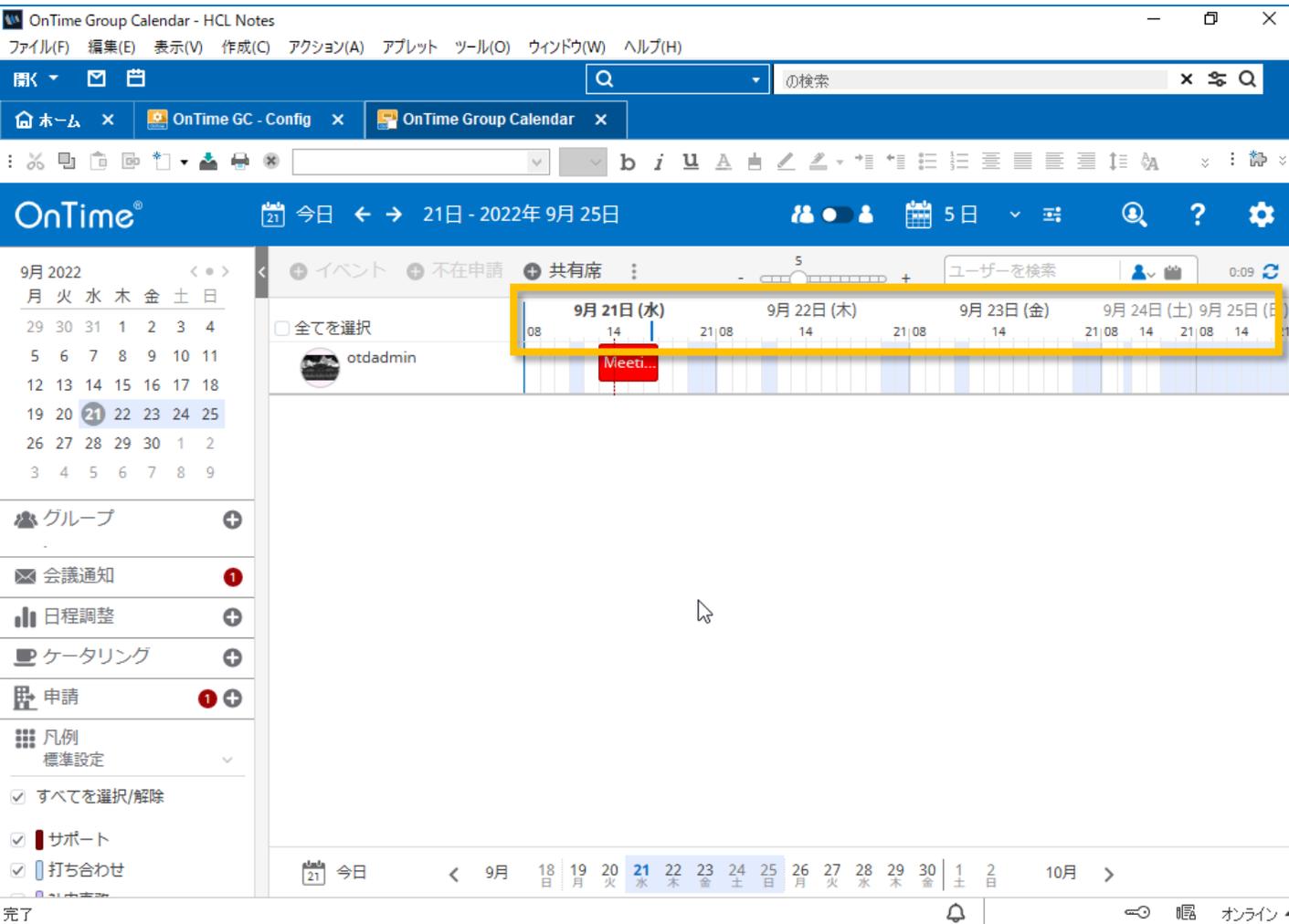
デフォルト設定を準備 3



The screenshot shows the OnTime GC - Config web application interface. The left sidebar contains a navigation menu with categories like Global Settings, Server Settings, Users, Legends, Roles, Display Groups, Application, and Languages. The main content area is titled 'OnTime GC - Config' and shows a table of settings. A dropdown menu is open, showing 'Task Commands' with 'Admin - Default Settings only' selected. The table below has columns for 'Settings Name', 'Users / Excluded', and 'Names Coun'. The 'Default' setting is visible in the table.

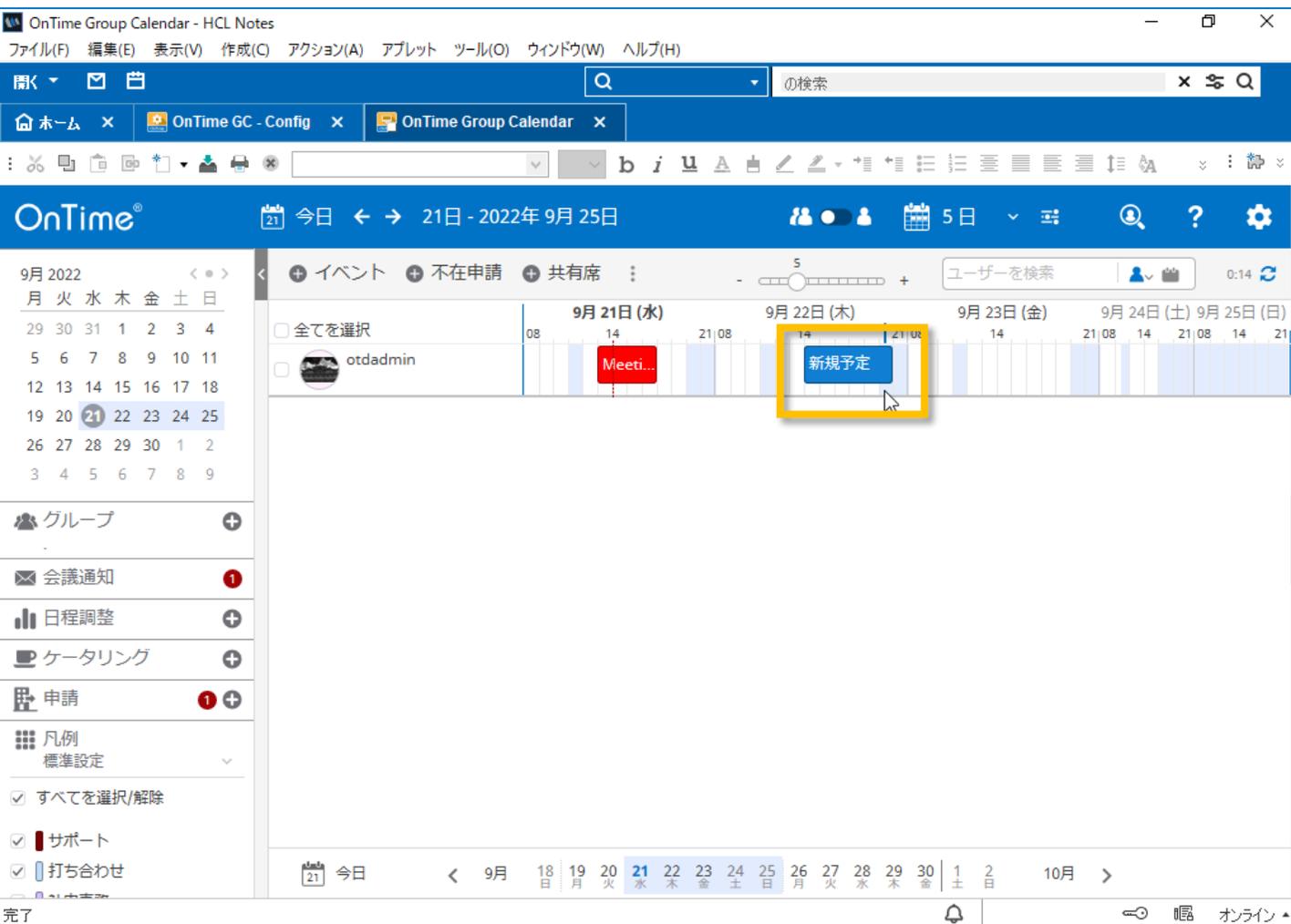
- 保存が完了したら「Admin」コマンドを実行しますが、同じビュー上にサブコマンドとして「Task Commands/Admin – Default Settings only」が準備されているのでそのボタンを実行します

デフォルト設定を準備 4



- 再度OnTimeクライアントを開き直すと項目などが日本語になり、日付書式も日本の書式になっています

予定を操作して最終確認 1



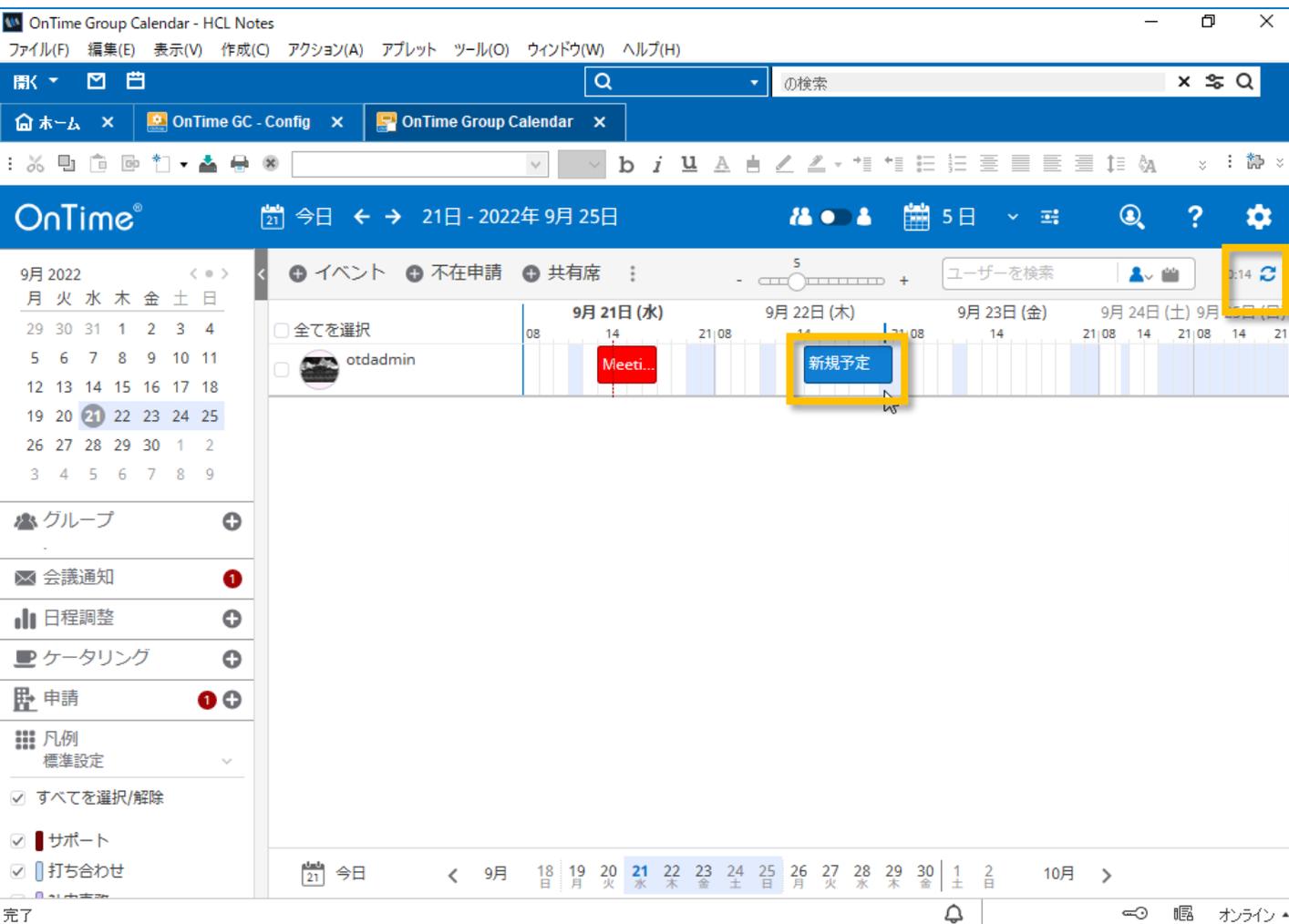
- 編集可能な新規「予定」を作成します
- OnTimeクライアントでは画面のご自身の予定表示箇所ドラッグすれば作成できます
- 既に表示されている予定があればその予定でも構いません

予定を操作して最終確認 2



- Notesのカレンダー画面を開きます
- OnTimeはリアルタイムでメールDBのスケジュールデータを同期します
- Notesのカレンダーで予定を移動させます
- もしNotesのカレンダーに目的の予定が表示されていない場合は画面の「更新」を実行します

予定を操作して最終確認 3



- 予定を移動させたら再びOnTimeクライアントに画面を切り替えます
- 画面右上に「ビューの更新」ボタンがあるのでクリックします

予定を操作して最終確認 4



OnTime Group Calendar - HCL Notes

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 作成(C) アクション(A) アプレット ツール(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

開く 検索

ホーム OnTime GC - Config OnTime Group Calendar otdadmin - カレンダー

OnTime 今日 ← → 21日 - 2022年 9月 25日

9月 2022 月 火 水 木 金 土 日

29 30 31 1 2 3 4

5 6 7 8 9 10 11

12 13 14 15 16 17 18

19 20 21 22 23 24 25

26 27 28 29 30 1 2

3 4 5 6 7 8 9

グループ

会議通知

日程調整

ケータリング

申請

凡例

標準設定

すべてを選択/解除

サポート

打ち合わせ

完了

9月 21日 (水) 9月 22日 (木) 9月 23日 (金) 9月 24日 (土) 9月 25日 (日)

08 14 21 08 14 21 08 14 21 08 14 21

o t d a d m i n

Meeti...

新規予定

今日 < 9月 18日 19日 20日 21日 22日 23日 24日 25日 26日 27日 28日 29日 30日 1日 2日 10月 >

完了

- 予定が新しい日時に変更されていることが確認できれば作業は終了です



引き続き各種設定も行ってください

- OnTimeは皆さまの組織のご要望にできるだけ添えるよう様々な設定がございます
- 他の詳細設定は管理者マニュアルに基づいて行ってください
- その他にもShopサイトには右記のように各種マニュアル（内容によってはステップバイステップ）で準備しています
- また、新バージョン毎の主な新しい機能はリリースノートに記載していますのでFAQサイトも合わせてご覧ください

■ 管理者マニュアル

- 主にConfigDBの各種設定について解説しています。

■ 日本語に関する各種設定マニュアル (Step by Step)

- お名前や各種表示内容などを日本語化する最短距離となる手順書です。

■ DisplayGroups(表示グループ)設定マニュアル (Step by Step)

- OnTimeではメインビューに表示するメンバーのセットを表示グループと呼んでいます。
- 組織階層的に表示する方法などをご案内しています。

■ Roles(権限)設定マニュアル (Step by Step)

- 他ユーザーの予定に対する権限を付与する方法の手順書。
- 秘書さんの代理設定や部下の予定の閲覧権限などの設定方法です。

■ Legends(凡例)設定マニュアル (Step by Step)

- メインビューで予定を各種条件で色分けして表示する設定方法の手順書。

■ Online Meeting設定マニュアル

- Microsoft Teams、Zoom、Webexの予約同時作成機能の設定方法の手順書。

■ 不在通知ワークフロー 共有席 管理者マニュアル

- 休暇や出張などオフィスを不在することを関係者に通知する簡易ワークフロー及びフリーアドレスなどオフィスのデスクを予約できる機能を実装する手順書です。

■ Exchangeハイブリッド設定マニュアル

- Exchangeのメールボックスのスケジュールを統合利用する機能の実装手順書です。